

令和3年度（2021年度）
第2次募集

新潟大学大学院自然科学研究科

博士前期（修士）課程

Master's Program

学 生 募 集 要 項

【 一 般 入 試 】

【 社会人特別入試 】

【外国人留学生特別入試】



大学院自然科学研究科

GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
NIIGATA UNIVERSITY

一般入試の受験を希望する方へ

新潟大学大学院自然科学研究科博士前期(修士)課程一般入試を受験する場合、TOEIC 又は TOEFL (TOEFL-iBT, 改訂版 TOEFL ペーパー版テスト (The revised TOEFL Paper-delivered Test), TOEFL-ITP) の成績証明書等の提出をお願いしております。

【留意事項】

- (1) 該当するコースは次ページのとおりです。
- (2) テスト実施日が平成 28 年 (2016 年) 1 月 1 日から令和 3 年 (2021 年) 1 月 31 日までのものが有効です。
- (3) 出願時に提出できない場合は、理由書(様式任意)を出願時に提出のうえ、令和 3 年 2 月 12 日(金)までに出願書類提出先へ提出してください。
- (4) 提出できるスコアがない場合や(2)の有効期間以外のものしかない場合の取扱いについては、受験するコースにより異なります。該当者は、コースの連絡先教員(44 ページ参照)へ早めにお問い合わせください。

○成績証明書等の再発行については、各実施事務局等へお問い合わせください。

○TOEIC の成績証明書等について

TOEIC の Official Score Certificate 又は Score Report とします。

○TOEFL の成績証明書等について

TOEFL の Test Taker Score Report (Examinee Score Record) 又は Score Report とします。Official Score Reports は受け付けません。

※ 本募集要項上の「TOEIC」とは、平成 28 年 (2016 年) 8 月 5 日以降実施分については「TOEIC Listening & Reading Test」のことであり、それ以外の「TOEIC Speaking & Writing Tests」, 「TOEIC Bridge Test」等は、該当しませんので注意してください。

記

TOEIC または TOEFL (TOEFL-iBT, 改訂版 TOEFL ペーパー版テスト (The revised TOEFL Paper-delivered Test) , TOEFL-ITP) のスコアの提出が
 必要な専攻, コース一覧表

専攻名	コース名	系
数理物質科学	物理学	
	化学	
	数理科学	
材料生産システム	機能材料科学	物性系 開発系
	素材生産科学	応用化学系 化学工学系
	機械科学	
	社会システム工学	
電気情報工学	情報工学	
	電気電子工学	
	人間支援科学	
生命・食料科学	基礎生命科学	
	応用生命・食品科学	
	生物資源科学	
環境科学	自然システム科学	
	流域環境学	
	社会基盤・建築学	社会基盤系 建築系
	地球科学	
	災害環境科学	

【入 試 日 程】

事前資格審査申請期限 (該 当 者 の み)	令和2年11月27日 (金)
事前資格審査結果通知 (該 当 者 の み)	令和2年12月15日 (火)
出 願 期 間	令和3年1月5日 (火) ~ 1月7日 (木) 【期間内必着】
受験票送付 (予定)	令和3年1月26日 (火)
試 験 日	令和3年2月18日 (木)
合 格 発 表	令和3年3月8日 (月) 午前10時
入 学 手 続	令和3年3月24日 (水) ~ 3月25日 (木)

令和3年度第2次募集については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に対応した方法により入学試験を実施します。出願にあたっては、本募集要項を十分にご確認願います。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により本募集要項の内容に変更が生じた場合は、以下のとおりホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特にご注意願います。

自然科学研究科ホームページ

<http://www.gs.niigata-u.ac.jp/>



新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、新潟大学ホームページ「受験生特設サイト」をご覧ください。

受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>

目 次

I	大学院自然科学研究科【博士前期課程】における教育研究の目的及び 各専攻のアドミッション・ポリシー・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	令和3年度（2021年度）（第2次募集）	
	一般入試・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	社会人特別入試・・・・・・・・・・・・・・・・	20
	外国人留学生特別入試・・・・・・・・・・・・・・・・	26
	Entrance Examination for International Students・・・・・・・・	31
	出願資格の審査（別紙1及び別紙2）・・・・・・・・	38
	コースの連絡先教員一覧表・・・・・・・・	44
III	自然科学研究科の概要（博士前期課程）	
	(1) 専攻・コースの概要・・・・・・・・	47
	(2) 所属教員・研究内容一覧・・・・・・・・	53

本研究科所定用紙（出願書類）

- ・ 入学願書・受験票・写真票・履歴書・振込依頼書（共通）
- ・ 受験承諾書（一般入試・外国人留学生特別入試用）
- ・ 承諾書（社会人特別入試用・長期履修学生用）
- ・ 研究業績書（共通）
- ・ 研究計画書（社会人特別入試用）
- ・ 入学試験出願資格認定審査調書（共通）
- ・ 研究経過報告書（共通）
- ・ 封筒

For International Students

- ・ Consent for Taking Examination
- ・ Research Achievement Report
- ・ Application Form for Eligibility Screening of Entrance Examination
- ・ Research Progress Report

I

II

III

I 大学院自然科学研究科【博士前期課程】における
教育研究の目的及び
各専攻のアドミッション・ポリシー

I 大学院自然科学研究科【博士前期課程】における教育研究の目的及び各専攻のアドミッション・ポリシー

○ 教育研究の目的

自然科学研究科は理学・工学・農学の分野を含む総合型の区分制大学院として5年一貫の教育を重視し、優れた研究能力と幅広い視野をもった創造性豊かな人材を養成することを目的とする。

博士前期課程は、各専攻における教育研究を通じて、専門分野に関する専門的知識及び関連分野の基礎的素養を修得させ、以下の能力を備えた人材の養成を教育目標とする。

- (1) 自然・社会・人類に対する倫理的な判断能力
- (2) 基礎理論・技術を理解し、応用する能力
- (3) 課題を発見し、解決する能力
- (4) 学会発表を含むコミュニケーション能力
- (5) 定められた期間で報告する能力

博士前期課程の各専攻は、次に掲げる教育研究を行う。

- (1) 数理物質科学専攻は、数学系、物理学系及び化学系の分野で構成し、自然界の基本法則、宇宙、物質の性質や反応機構の解明と新素材・新物質の創製及び数理現象に関する教育研究を行う。
- (2) 材料生産システム専攻は、材料系、化学系、機械系及び技術経営系の分野で構成し、先端材料の創製、新機能・高機能性材料の開発、材料評価、生産プロセス、材料生産のための機械科学及びイノベーション科学に関する教育研究を行う。
- (3) 電気情報工学専攻は、高度情報社会、省エネルギー社会、高福祉社会に貢献する情報工学、電気電子工学及び人間支援科学の分野で構成し、情報通信工学、知能情報科学、高効率エネルギー、電子デバイス、ナノテクノロジー、センシング、医用生体・看護理工学、健康スポーツ・福祉工学及び、音楽・芸術との融合工学に関する教育研究を行う。
- (4) 生命・食料科学専攻は、基礎生命科学、応用生命・食品科学、生物資源科学の分野で構成し、生命原理を解き明かす生物学の基礎から、農学とその関連部門での幅広い応用科学に関する教育研究を行う。
- (5) 環境科学専攻は、理学、工学及び農学等の専門領域を有機的に複合した分野で構成し、多面的に地球的規模及び地域社会の環境問題に取り組み、既成の学問領域の枠組みを越えた総合的視点に立った環境科学に関する教育研究を行う。

○ 数理物質科学専攻アドミッション・ポリシー

【教育理念・目標】

数理物質科学専攻は、数学系、物理学系及び化学系の分野で構成し、自然界の基本法則、宇宙、物質の性質や反応機構の解明と新素材・新物質の創製及び数理現象に関する教育研究を行います。また、物理学の教授法や概念形成に関する物理教育研究も行います。

【教育内容・特色】

本専攻は、さまざまな自然構造の法則の探求や、凝縮物質の性質や反応機構の解明と新素材・新物質の探求、さらに自然界や社会の諸現象の数理的な解明に対しての探求を最も基本的レベルからの教育研究で行い、科学技術上の課題に自ら能動的に対処できる幅広い見識と独創性に富んだ人材育成を図ります。また、後期課程に進学してさらなる研究能力を身に付け科学技術の先端基礎分野や数理科学分野で活躍できるための専門的かつ先端的学問分野の基礎教育を行います。物理教育学の分野では、物理学の内容に関する深い見識に基づき、学習者の概念形成を促す効果的な教授法の開発とこれが実践できる人材育成を図ります。

【求める学生像】

研究者を志す探究心に富んだ人、最新の研究を的確に把握し、かつ実践できる能力を身につけ産業界で活躍を目指す人、教育、科学技術行政に携わる意欲のある人。入学希望コースに対応する学科などで卒業レベルの基礎学力を習得し、十分な英語力（科学・技術情報の収集・解析・発信のための基礎的スキル）を有する人。

【入学者選抜の基本方針】

[一般入試]

・学部課程で学んだ知識をさらに深め自然科学を生かした専門的職業人を志す、高い勉学意欲を有する人、および学部で学んだ知識を基礎に、新たな知識を学びこれを有効に活用する手法を習得し、自然科学の基礎分野、数理科学分野または物理教育学分野での活躍を目標とする知的好奇心にあふれ強い意志をもつ人を選抜します。

[社会人特別入試]

・学部課程で学んだ知識と社会人としてのキャリアを基礎に、新しい知識を学びこれを積極的に活用する手法を習得し、専門的職業人としてのキャリアアップや自然科学・技術の新たな分野に進む勉学意欲と自主努力を行う強い意志をもつ人を選抜します。

[外国人留学生特別入試]

・一般入試の事項に加えて、入学希望コースでの学習に支障ない基礎学力（当該コースに対応する学部卒業以上の資格あるいはこれと同等以上の学力）を有し、日本語あるいは英語による必要最小限のコミュニケーションの能力を有する人を選抜します。

○ 材料生産システム専攻アドミッション・ポリシー

【教育理念・目標】

材料生産システム専攻は、材料系、化学系、機械系及び技術経営系の分野で構成し、先端材料の創製、新機能・高機能性材料の開発、材料評価、生産プロセス、材料生産のための機械科学及びイノベーション科学に関する教育研究を行います。

【教育内容・特色】

本専攻では、豊かな人間性とバランスのとれた自然観を身につけ、材料生産システムに関わる学際的な領域において幅広く深い学識と技術を備え、高度の専門的な職業を担うための卓越した能力を有する人材を養成します。

【求める学生像】

入学に際しては、自然系の学部基礎教育（理学，工学，農学など）を修得していることを必要とします。本専攻においては学際化が求められることから、数学，物理，化学などの自然科学の基礎学力を習得し、専門とする分野の基礎学力または専門に関わる幅広い基礎学力を有し、国際性・社会性を修得するに必須なコミュニケーション能力を持ち、強い勉学意欲を有することが必要です。学内外を問わず材料科学，生産・加工技術に志のある学生は積極的に受け入れます。さらに，社会人等他分野からの受け入れに関しても柔軟に対応します。

【入学者選抜の基本方針】

[一般入試]

学部課程で学んだ知識をさらに深め自然科学を生かした専門的職業人を志す，高い勉学意欲を有する人，または，学部課程で学んだ知識を基礎に，新たな知識を学びこれを有効に活用する手法を習得し，自然科学の基礎分野での活躍を目標とする知的好奇心にあふれ強い意志をもつ人を選抜します。

[社会人特別入試]

学部課程で学んだ知識と社会人としてのキャリアを基礎に，新しい知識を学びこれを積極的に活用する手法を習得し，専門的職業人としてのキャリアアップや自然科学・技術の新たな分野に進む勉学意欲と自主努力を行う強い意志をもつ社会人を選抜します。

[外国人留学生特別入試]

一般入試の事項に加えて，入学希望コースでの学習に支障ない基礎学力（当該コースに対応する学部卒業以上の資格あるいはこれと同等以上の学力）を有し，日本語あるいは英語による必要最小限のコミュニケーションの能力を有する人を選抜します。

○ 電気情報工学専攻アドミッション・ポリシー

【教育理念・目標】

電気情報工学専攻は、高度情報社会、レジリエントな社会インフラ、高福祉社会の確立に貢献する情報工学、電気電子工学及び人間支援科学の分野で構成し、情報ネットワーク工学、知能情報科学、数理情報、エネルギー工学、電子材料工学、光センシング、医用生体・看護工学、健康スポーツ・福祉工学及び、音楽・芸術との融合工学に関する教育研究を行います。

【教育内容・特色】

数学、物理などの自然科学の基礎学力と社会性・国際性を身に付けるために必須なコミュニケーション能力を有し、情報科学、情報通信、電気電子工学、機械工学、医療工学、福祉工学のいずれかの専門とする分野において、予備知識と専門的学部教育の経験を有し、これらの分野において、教育・研究・開発・設計・製造・企画・管理など知的で創造的な業務に従事する高度な専門的職業人となることを目標として、深い専門的知識と幅広い視野や豊かな人間性を身につけるため、高い勉学・研究意欲と計画、自主努力を行う強い意思をもつ者の入学を期待します。

【求める学生像】

電気情報工学専攻では、情報工学あるいは電気電子工学もしくは人間支援感性科学等に関する学部卒業程度の基礎学力を有し、以下のような資質と意欲をもつ人の入学を広く募ります。

- ・技術者や研究者として高度な専門的能力と見識を身につけ、工学を通して社会に貢献しようとする人。
- ・専門分野における新たな知識を、自主的かつ計画的に学ぶ意欲と能力を有する人。
- ・社会が直面する諸問題に関心を持ち、技術者・研究者として高い倫理感を持って問題の解決を目指す人。
- ・学んだ知識を活用し国際的に活躍することを希望する人。

【入学者選抜の基本方針】

[一般入試]

- ・大学卒業レベルの基礎学力を持つとともに、専門分野に関連する科目への高い理解度を持つ人を選抜します。
- ・個別学力検査では、外国語（英語）、専門科目（入学希望コース別）を課し、電気情報工学を学ぶ上で基礎となる事項への理解度を評価します。ただし、外国語の試験は実施せず、公的語学検定の結果により評価します。
- ・面接では、勉学の計画や意欲について評価します。

[社会人特別入試]

- ・入学者の選抜は、小論文、面接及び出願書類を総合して選抜します。
- ・小論文では、これまでの業務実績及びこれからの勉学の計画について評価します。
- ・面接では、専門的職業人としてのキャリアアップや自然科学・技術の新たな分野に挑戦する勉学意欲を評価します。

[外国人留学生特別入試]

- ・大学卒業レベルの基礎学力を持つとともに、専門分野に関連する科目への高い理解度を有し、日本語あるいは英語による必要最小限のコミュニケーション能力を有する人を選抜します。選抜は、個別学力検査、面接及び出願書類を総合して行います。
- ・個別学力検査の専門科目では、入学希望コースでの学習に支障のない基礎学力（当該コースに対応する学部卒業以上の資格あるいはこれと同等以上の学力）を評価します。
- ・面接では、勉学の計画や意欲について評価します。

○ 生命・食料科学専攻アドミッション・ポリシー

【教育理念・目標】

生命・食料科学専攻は、基礎生命科学、応用生命・食品科学、生物資源科学の3つのコースで構成し、生命原理を解き明かす生物学の基礎から、農学とその関連部門での幅広い応用科学に関する教育研究を行います。

【教育内容・特色】

本専攻は、生命の基本原理の解明、生物が持つ様々な機能の解析と応用、地球環境変動の生態系への影響や予想される食料不足などの深刻化する諸問題への対応、などに向けて大きな関心と期待が集まっている基礎生物学と応用生物学からなります。この2つの生物学分野を有機的に融合させ、ゲノムからポストゲノムへと展開する現代の生命科学の潮流をふまえて、生命科学の基礎から食料生産、バイオテクノロジー、さらにその関連産業にいたる幅広い生命科学分野の教育・研究を行うことを目的としています。博士前期課程では、基礎生命科学領域の研究者、生命科学の基礎と先端の知識をもつ教育者、生物の有益な機能の開発を目指す技術者、食品・動植物素材の加工や安全性に関する技術者および研究者などの社会的に要請の高まっている人材を養成します。

【求める学生像】

[一般入試]

- 生命・食料科学分野に関して大学卒業レベルの基礎学力を有し、
- ・生命現象の根源的理解、新技術の開発、地域の産業や環境の改善に対応できる専門的能力と学識を身につけたいと考えている人。
 - ・農業・食品産業分野に高い関心と知的好奇心に富み、自由な発想・行動力と強い責任感を併せ持ち、周囲の人々とともに自己研鑽に励み、高度な専門的技術と学識を身につけたいと考えている人。

[社会人特別入試]

一般入試の事項に加えて、社会人としてのキャリアを基礎に、新しい知識を学びこれを積極的に活用する手法を習得し、専門的職業人としてのキャリアアップや自然科学・技術の新たな分野に進む勉学意欲と自主努力を行う強い意志をもつ人。

[外国人留学生特別入試]

一般入試の事項に加えて、日本語あるいは英語による必要最小限のコミュニケーションの能力を有する人。

【入学者選抜の基本方針】

[一般入試]

大学卒業レベルの基礎学力を持つとともに、専門分野に関する科目への高い理解度をもち、自然科学を生かした専門的職業人を志す、高い勉学意欲を有する人を選抜します。なお、特に優秀と認められた者には筆記試験を免除し、口述試験を課します。筆記試験では、専門分野に関する科目の試験によって学力を評価し、公的語学検定（TOEIC又はTOEFL）の成績によって英語の能力を評価します。口述試験及び面接では、専門分野に関連する科目への理解度と、研究計画や研究・勉学に対する意欲を評価します。

[社会人特別入試]

大学卒業レベルの基礎学力を持つとともに、専門分野に関する科目への高い理解度をもち、高い勉学意欲を有する人を選抜します。小論文と面接によって、入学希望コースでの学習に支障のない基礎学力と勉学意欲を評価します。

[外国人留学生特別入試]

大学卒業レベルの基礎学力を持つとともに、専門分野に関する科目への高い理解度をもち、高い勉学意欲を有する人を選抜します。学力検査及び面接によって、入学希望コースでの学習に支障のない基礎学力と、日本語あるいは英語によるコミュニケーション能力を評価します。

○ 環境科学専攻アドミッション・ポリシー

【教育理念・目標】

環境科学専攻は、理学、工学及び農学等の専門領域を有機的に複合した分野で構成し、多面的に地球の規模及び地域社会の環境問題に取り組み、既成の学問領域の枠組みを越えた総合的視点に立った環境科学に関する教育研究を行います。

【教育内容・特色】

環境科学専攻は、地球規模から北東アジアの一角の日本海や新潟地域、さらに都市や住まいまでを広く研究対象として、エネルギー循環過程のメカニズム、野生生物の多様性、森林科学、農業農村環境工学、農業機械システム学、社会基盤工学、建築学、地球科学、災害科学に関する先端的・学際的で超域的な研究を行うことを目的とします。これにより地球や地圏・水圏・生物圏などの構造を探求する優れた知識、自然環境と人間社会との相互関係についての広い視野や専門知識、および都市・農山村環境を創出する能力を持った技術者、公務員、教員などの人材の養成を行います。また、環境問題の特性から、従来の思考にとらわれない高い課題探求力と問題解決能力、倫理観をもって社会に貢献でき、外国人研究者との専門的知見において十分意志疎通のできる国際性豊かな人材を育てます。

【求める学生像】

学部教育において本専攻に対応する学問分野を専修した学生に限定せず、広く人文・社会科学を専修した学生も含め、基本的な情報収集、解析および発信の能力をもち、環境にかかわる問題に積極的に関わっていかこうとする学生・社会人を受け入れます。これに加えて、後期課程に進学して更なる研究能力を身に付けて先端基礎分野で活躍しようと専門学問分野に深い関心を持つ人材の育成も行います。

【入学者選抜の基本方針】

[一般入試]

選抜する人物は、学部課程で学んだ知識をさらに深め自然科学を生かした専門的職業人を志し、十分な基礎的知識・能力、および高い勉学意欲を有する学生。または、学部課程で学んだ知識を基礎に、新たな知識を学びこれを有効に活用する手法を修得し、自然科学の分野での活躍を目標とする知的好奇心にあふれ強い意志をもつ学生・社会人を選抜します。

個別学力検査では、英語、専門科目を課し、それぞれのコースに対応した学問分野を学ぶ上で基礎となる事項に関する理解度を評価します。面接・口頭試問では、修士課程での研究計画や研究に対する意欲について評価します。

[社会人特別入試]

学部課程で学んだ知識と社会人としてのキャリアを基礎に、新しい知識を学びこれを積極的に活用する手法を修得し、専門的職業人としてのキャリアアップや自然科学・技術の新たな分野に進む勉学意欲と自主努力を行う強い意志をもつ社会人を選抜します。

[外国人留学生特別入試]

一般入試の事項に加えて、入学希望コースでの学習に支障ない基礎学力（当該コースに対応する学部卒業以上の資格あるいはこれと同等以上の学力）を有し、日本語あるいは英語による必要最小限のコミュニケーションの能力を有する学生・社会人を選抜します。

II 令和3年度（2021年度）第2次募集

【一 般 入 試】

1 募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
数理物質科学専攻	若干人	生命・食料科学専攻	若干人
材料生産システム専攻	若干人	環境科学専攻	若干人
電気情報工学専攻	若干人		

(注1) 出願に際しては、必ず連絡先教員(44ページ参照)又は志望するコースの担当教員(53ページ参照)に教育研究内容等について問い合わせの上、出願してください。

(注2) 各専攻とも、コースによっては受け入れできない場合があります。

2 出願資格

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
【注1】参照
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者【注1】参照
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者【注1】参照
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者【注1】参照
- (10) 令和3年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学する予定の者で本研究科が定める単位を優秀な成績で修得する見込みがあると認めたもの及び外国の学校教育における15年の課程を修了した者【注2】参照
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに22歳に達する者【注3】参照

【注1】 前記(3)、(4)、(6)又は(9)の出願資格によって出願する者は、自然科学研究科学務係(☎(025)262-7387)に問い合わせの上、同係の指示する出願書類と共に、返信用封筒(長形3号の封筒に郵便切手384円分を貼り、志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記したもの)を提出し、事前審査を受けてください。

書類等の提出期限及び事前審査の結果通知日は、次のとおりです。

書類等は、**令和2年11月27日（金）まで**（必着）に提出してください。

事前審査の結果は、**令和2年12月15日付け**で本人あて通知します。

【注2】 前記(10)の出願資格によって出願する者は、別紙1（38ページ）を参照してください。

【注3】 前記(11)の出願資格によって出願する者は、別紙2（39ページ）を参照してください。

3 出願期間

令和3年1月5日（火）から令和3年1月7日（木）まで（期間内必着）

4 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、本要項に添付の封筒に次の書類等を入れ、出願期間内に書留速達で郵送してください。

(2) 出願書類等の提出先

〒 950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学大学院自然科学研究科学務係 ☎ (025) 262-7387

(3) 出願書類等

〔志願者全員が提出するもの〕

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書 受 験 票 写 真 票 履 歴 書	<ul style="list-style-type: none">本要項に添付の所定用紙を使用してください。 なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実に貼ってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）写真票の所定箇所に写真（縦4cm、横3cmの上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。
② 卒業証明書又は 卒業見込証明書	<ul style="list-style-type: none">出身（在籍）大学長又は学部長が作成したものを提出してください。7ページの「2出願資格」の(10)によって出願する者は、提出不要です。
③ 学業成績証明書	<ul style="list-style-type: none">出身（在籍）大学長又は学部長が作成し、厳封したものを提出してください。短期大学又は高等専門学校の特攻科の修了者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と特攻科の成績証明書を提出してください。

<p>④ TOEIC, TOEFL等の成績証明書等の原本（スコア）</p> <p>★提出できるスコアがない場合や有効期間（右記注(1)）以外のものしかない場合の取扱については、受験するコースにより異なります。該当者は、コースの連絡先教員（44ページ参照）へ早めにお問い合わせください。</p>	<p>TOEIC (TOEIC-IP (団体特別受験制度) を含む。) の場合は, Official Score Certificate 又は Score Report を提出してください。</p> <p>TOEFLの場合は, TOEFL-iBT, 改訂版TOEFLペーパー版テスト (The revised TOEFL Paper-delivered Test) の Test Taker Score Report 又は Examinee Score Record (Official Score Reports は受け付けません。) を提出してください。TOEFL-ITPの場合は Score Report を提出してください。</p> <p>(注)</p> <p>(1) テスト実施日が平成28年1月1日から令和3年1月31日までのものが有効です。</p> <p>(2) 出願時にスコアを提出できない場合は, 理由書 (様式任意) を出願時に提出してください。 出願後, スコアが用意できた場合は, 令和3年2月12日 (金) までに 出願書類提出先に提出してください。</p> <p>(3) 第1次募集において不合格となった者で, 第2次募集に出願する場合は, 第1次募集の際に提出したスコアを使用することもできるので, 申し出てください。</p>
<p>⑤ 検定料納付証明書</p>	<p>本要項に添付の「振込依頼書 (新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学試験検定料) ・振込金及び手数料領収書 (志願者保存) ・検定料納付証明書 (新潟大学提出用)」に必要事項を記入し, 以下の点に留意のうえ, 最寄りの金融機関 (ゆうちょ銀行を除く。) に持参し, 窓口で検定料30,000円を振り込んでください。その後, 入学願書の所定欄に検定料納付証明書 (新潟大学提出用) を貼って提出してください。</p> <p>なお, 振込手数料は, 志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は, 必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは, 下記の期間内に必ず行ってください。 (※土・日曜日, 祝日の振込みはできません。)</p> <p>令和2年12月15日 (火) から令和3年1月7日 (木) [15時] まで</p> <p>③ ATM (現金自動預払機) での振込みはできません。</p>
<p>⑥ 返信用封筒 2枚作成 〔受験票在中 (長形3号) 入学手續書類在中 (角形2号)〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本要項に添付の返信用封筒を使用してください。 ・ 封筒には, 志願者の郵便番号, 住所及び氏名を記入してください。 ・ 「受験票在中」 (長形3号) には, 郵便切手 384円分を貼ってください。 ・ 「入学手續書類在中」 (角形2号) には, 郵便切手を貼る必要はありません。 <p>※ 転居等で受験票や合格通知書が未着となることがないように変更があった場合は, 速やかに出願書類等提出先に申し出てください。</p>

〔該当する志願者のみが提出するもの〕

書 類 等	摘 要
⑦ 受験承諾書	<ul style="list-style-type: none"> 教育機関、研究機関や地方自治体、企業等に在職している者で在職のまま入学を予定している者は、勤務先所属長の作成した受験承諾書（本要項に添付の所定用紙）を提出してください。 合格後退職して入学する予定の場合は、本人が退職する予定であることを明記した文書をもって受験承諾書に代えます。その場合は、入学手続き時に退職証明書（又は退職見込証明書）が必要です。
⑧ パスポートの写し又は 在留カードの写し	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍を有する者は、パスポートの写し（顔写真ページおよび在留資格が記載されているページ）又は在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。
⑨ 学位授与証明書	<ul style="list-style-type: none"> 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者で、それを出願資格とする場合のみ提出してください。
⑩ 短期大学又は高等専門 学校の専攻科の修了（見込 み）証明書及び学士の学位 授与申請書の受理証明書 （又は学士の学位授与を大 学改革支援・学位授与機 構に申請予定である旨の 証明書）	<ul style="list-style-type: none"> 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は、提出してください。（7ページの「2出願資格」の(2)後段該当者） 専攻科の修了（見込み）証明書及び学位授与申請予定の証明書は、出身（在籍）短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出してください。 学位授与申請書の受理証明書は、大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。

（注1） 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。

（注2） 英語以外の外国語で作成された書類等には、日本語訳を必ず添付してください。

（注3） 健康診断書の提出を求めていますので、受験及び修学上の配慮を必要とする志願者は、出願前に申し出てください。

（注4） 出願書類等については、本研究科入学者選抜において必要なため提出いただくものであり、これによって得た情報を、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

5 選抜方法

入学者の選抜は、実施科目等の結果並びに出願書類の審査を総合して行います。

（注） 受験する専攻（コース等）で課された試験のすべてを受験してください。一部でも欠席した者は、合格者としません。

6 試験日程・実施科目等

(1) 試験日程

令和3年2月18日（木）

※試験時間等の詳細については、受験票と一緒に送付する受験案内や自然科学研究科のホームページにてお知らせしますので、必ず確認の上、ご対応願います。

※受験票は、令和3年1月26日（火）発送予定です。

(2) 実施科目等

①専攻・コース別の実施科目は、次に示すページに記載のとおりです。

専攻	ページ
数理物質科学専攻	11
材料生産システム専攻	12
電気情報工学専攻	13
生命・食料科学専攻	14
環境科学専攻	15

②面接（口頭試問を含む）について

全てのコースについて、「Zoomによるオンライン」で行います。

③小論文について（該当コースのみ）

試験日より前に提出をしていただきます。

小論文の詳細（問題や書式、提出方法等）については、自然科学研究科ホームページにて、令和3年1月26日（火）にお知らせします。出願するコースの実施科目に「小論文」が含まれる方は、必ずホームページを確認の上、対応願います。

④外国語（英語）について

出願書類に含まれる「TOEICまたはTOEFL」のスコアに基づいて評価をします。

事情により提出できるスコアがない場合の取り扱いは、出願するコースによって異なります。以下のとおり対応をしてください。

- ・出願の前に、出願するコースの連絡先教員へスコアがない旨連絡の上、対応を確認する。
- ・出願の際は、スコアが提出できない理由を書いた「理由書（様式任意）」を提出する。

試験実施科目

数理物質科学専攻

<物理学コース>

科目	試験内容等	備考
口頭試問	物理学の一般的事項や、卒業研究及び希望する指導（予定）教員の研究に関する基礎事項などについて質問します。	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<化学コース>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<数理科学コース>

科目	試験内容等	備考
専門科目 [数学]	線形代数, 微積分, 解析, 代数, 幾何, 応用数学から出題します。3問選択し, 解答します。	詳細については, 令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については, 令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

材料生産システム専攻

<機能材料科学コース (物性系) >

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については, 令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については, 令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<機能材料科学コース (開発系) >

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については, 令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については, 令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<素材生産科学コース (応用化学系) >

科目	試験内容等	備考
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については, 令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<素材生産科学コース（化学工学系）>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<機械科学コース>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<社会システム工学コース>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

電気情報工学専攻

<情報工学コース>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<電気電子工学コース>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<人間支援科学コース>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

生命・食料科学専攻

<基礎生命科学コース>

科目	試験内容等	備考
口頭試問	・卒業研究の概要や前期課程での研究計画を中心に口頭発表と質疑応答を行います。 ・生物学の基礎的知識に関する質問をすることがあります。	・Zoomによるオンラインで行います。 ・詳細については、受験案内にてお知らせします。

<応用生命・食品科学コース>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<生物資源科学コース>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

環境科学専攻

<自然システム科学コース>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<流域環境学コース>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<社会基盤・建築学コース（社会基盤系）>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<社会基盤・建築学コース（建築系）>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<地球科学コース>

科目	試験内容等	備考
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<災害環境科学コース>

科目	試験内容等	備考
小論文	特記事項なし	詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。
面接	特記事項なし	・Zoomによるオンライン面接 ・詳細については、令和3年1月26日に自然科学研究科ホームページにて公表します。

<フィールド科学コース>

令和3年度に「環境科学専攻フィールド科学コース」の開設が決定しました。フィールド科学コースに入学希望者は、受入予定教員と相談の上、「自然システム科学コース」、「流域環境学コース」、「災害環境科学コース」のいずれかを受験してください。

<東アジア大気環境学コース（連携講座）>

本コースでは学生募集を行いません。環境科学専攻のいずれかのコースを受験し、入学後に手続きを行うことにより、本コース担当教員（64ページ参照）の指導を受けることができます。

出願に際しては、必ず連絡先教員（44ページ参照）に問い合わせください。

7 合格発表

令和3年3月8日（月） 午前10時

新潟大学大学院自然科学研究科正面玄関において、合格者の受験番号を掲示により発表するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

なお、合格発表当日の12時頃に新潟大学大学院自然科学研究科ホームページ (<http://www.gs.niigata-u.ac.jp/>) にも合格者の受験番号を掲載します。

また、合格に関しての電話等による問い合わせには一切応じません。



8 入学手続

入学手続の概要は、次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

(1) 入学手続期間

令和3年3月24日（水）～3月25日（木）

(2) 入学に要する経費

① 入学料 282,000 円（予定額）

（注1） 入学料改定が行われた場合には、改定時から新入学料が適用されます。

（注2） 入学料免除等希望者は、入学手続時に入学料を納付しないでください。

（注3） 入学料を納付後、入学手続期間内に入学手続を完了しなかった（入学を辞退したものとして取り扱われる）場合は、当該入学料を返還します。返還の請求については、自然科学研究科学務係に照会してください。

9 授業料

年額 535,800 円（前期分 267,900円、後期分 267,900円）〔予定額〕

（注1） 授業料は、入学後、口座引き落としにより納付していただきます。

（注2） 授業料の納付方法の詳細については、合格者に別途通知します。

（注3） 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

10 入学料免除等について

下記のいずれかに該当する者のうち、入学手続期間内に所定の申請を行った者について、選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

なお、入学料徴収猶予（延納）の制度もあります。

- (1) 経済的理由により入学料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者
- (3) 上記に準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

11 授業料免除等について

下記のいずれかに該当する者のうち、入学後、所定の期間内に申請を行った者について、選考の上、各期（前期・後期）ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

なお、授業料徴収猶予（延納）の制度もあります。

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 授業料の当該期の納期前6ヶ月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）又は納期中に、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合
- (3) 上記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

12 奨学金について

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び家庭の経済的事情等を審査し、選考の上、日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

13 長期履修学生制度

この制度は、職業を有している等の事情により、通常の標準修業年限（2年）での修了が困難と予想される者が標準修業年限（2年）を超えて履修し、修了することを可能にした制度です。

(1) 対象者

次のいずれかに該当する者を対象とします。

- ①職業を有し就業している者（自営業及び臨時雇用を含む。）
- ②出産、育児又は親族の介護を行う必要がある者
- ③心身に障がいがある者
- ④その他研究科が長期履修の必要があると認める者

(2) 修業年限

長期履修学生の修業年限は、3年又は4年とします。

なお、入学後（在学中）に修業年限を変更することも可能ですが、その場合の適用は翌年度からとなりますので注意してください。

(3) 申請方法

長期履修申請書及び勤務先所属長の承諾書等研究科が必要と認める書類を入学手続期間内に自然科学研究科学務係へ提出してください。

(4) 結果通知

申請者に対し、入学手続後に長期履修の承認通知を行います。

(5) 授業料

授業料の額は、「国立大学法人新潟大学授業料その他の費用に関する規程で定められた金額×標準修業年限（2年）÷長期履修学生の修業年限」で算出した金額（年額）となります。

なお、入学手続時には納付できません。

※ 算出例（2020年度授業料年額を基に算出）

修業年限4年の長期履修学生の場合の授業料年額

535,800 円×2年÷4年=267,900 円（年額）

（注）在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(6) その他

不明な点については、新潟大学大学院自然科学研究科学務係へ問い合わせてください。

14 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

(1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。

(3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

15 注意事項

(1) 出願後は、出願書類等の記載事項の変更は認めません。

なお、既納の検定料及び出願書類等は、返還しません。

ただし、検定料振込み後、出願期間内に書類を提出しなかった場合は、当該検定料を返還しますので申し出てください。

(2) その他出願に際して疑問又は不明の点があれば、次に問い合わせてください。

新潟大学大学院自然科学研究科学務係 ☎(025)262-7387

【 社 会 人 特 別 入 試 】

近年における自然科学の著しい進歩と社会情勢の変化に伴い、社会人のリフレッシュ教育・生涯教育に対する需要が地域社会・産業界から急速な高まりを見せています。このような要請に対応するため、各種研究機関、教育機関、企業等において活躍中の社会人の積極的な受入れを促進し、高度な学識の習得と研究能力の向上を図ることを目的として、一般の入学者選抜方法とは異なる社会人の特別入試を実施します。

この入試により入学した者に対しては、「大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例」による教育（24ページの「12」参照）を実施することとしています。

1 募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
数理物質科学専攻	若干人	生命・食料科学専攻	若干人
材料生産システム専攻	若干人	環境科学専攻	若干人
電気情報工学専攻	若干人		

(注1) 出願に際しては、必ず連絡先教員（44ページ参照）又は志望するコースの担当教員（53ページ参照）に教育研究内容等について問い合わせの上、出願してください。

(注2) 各専攻とも、コースによっては受け入れできない場合があります。

2 出願資格

各種研究機関、教育機関又は企業等に令和3年4月1日現在で2年以上勤務経験を有する者で、入学後も引き続きその身分を有し、勤務成績が優秀であり、所属長の承諾を受けた者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者（【注1】参照）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者（【注1】参照）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者（【注1】参照）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3年3月31日までに22歳に達する者（【注2】参照）

【注1】 前記(3)、(4)又は(6)の出願資格によって出願する者は、新潟大学大学院自然科学研究科学務係（☎

(025)262-7387) にお問い合わせの上、同様の指示する出願書類と共に、返信用封筒（長形3号の封筒に郵便切手 384 円分を貼り、志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記したもの）を提出し、事前審査を受けてください。

書類等の提出期限及び事前審査の結果通知日は、次のとおりです。

書類等は、**令和2年11月27日（金）まで（必着）**に提出してください。

事前審査の結果は、**令和2年12月15日付け**で本人あて通知します。

【注2】 前記(9)の出願資格によって出願する者は、別紙2（39ページ）を参照してください。

3 出願期間

令和3年1月5日（火）から令和3年1月7日（木）まで（期間内必着）

4 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、本要項に添付の封筒に次の書類等を入れ、出願期間内に書留速達で郵送してください。

(2) 出願書類等の提出先

〒 950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学大学院自然科学研究科学務係 ☎ (025)262-7387

(3) 出願書類等

〔志願者全員が提出するもの〕

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書 受 験 票 写 真 票 履 歴 書	<ul style="list-style-type: none"> 本要項に添付の所定用紙を使用してください。 なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実に貼ってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。） 写真票の所定箇所に写真（縦4cm，横3cmの上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。 受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。
② 卒業証明書又は 卒業見込証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身（在籍）大学長又は学部長が作成したものを提出してください。
③ 学業成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身（在籍）大学長又は学部長が作成し、厳封したものを提出してください。 短期大学又は高等専門学校の特攻科の修了者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と専攻科の成績証明書を提出してください。
④ 検定料納付証明書	<ul style="list-style-type: none"> 本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で検定料30,000円を振り込んでください。その後、入学願書の所定欄に検定料納付証明書（新潟大学提出用）を貼って提出してください。 なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは、下記の期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日、祝日の振込みはできません。） 令和2年12月15日（火）から1月7日（木）〔15時〕まで ③ ATM（現金自動預払機）での振込みはできません。

⑤ 承諾書	<ul style="list-style-type: none"> 本要項に添付の所定用紙を使用し、勤務先の所属長が作成した承諾書を提出してください。
⑥ 在職期間等証明書	<ul style="list-style-type: none"> 在職期間及び職種について、勤務先の所属長が作成した証明書を提出してください。
⑦ 研究業績書	<ul style="list-style-type: none"> 本要項に添付の所定用紙を使用し、在職中の業績内容を記載したものを提出してください。 上記のほかに、研究論文、技術報告、特許・実用新案等がある場合、その業績を表す文書等の写しを提出してください。
⑧ 研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> 上記のほかに、本要項に添付の所定用紙を使用し、入学後に研究を希望する課題又は分野等についてまとめたものを提出してください。
⑨ 返信用封筒 2枚作成 〔受験票(長形3号) 入学手續書(角形2号)〕	<ul style="list-style-type: none"> 本要項に添付の返信用封筒を使用してください。 封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 「受験票在中」(長形3号)には、郵便切手384円分を貼ってください。 「入学手續書類在中」(角形2号)には、郵便切手を貼る必要はありません。 <p>※ 転居等で受験票や合格通知書が未着となることがないように変更があった場合は、速やかに出願書類等提出先に申し出てください。</p>

〔該当する志願者のみが提出するもの〕

書類等	摘要
⑩ パスポートの写し又は 在留カードの写し	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍を有する者は、パスポートの写し(顔写真ページおよび在留資格が記載されているページ)又は在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。
⑪ 学位授与証明書	<ul style="list-style-type: none"> 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者で、それを出願資格とする場合のみ提出してください。
⑫ 短期大学又は高等専門学校 の専攻科の修了(見込み)証明書 及び学士の学位授与申請書 の受理証明書(又は学士の 学位授与を大学改革支援・学 位授与機構に申請予定である 旨の証明書)	<ul style="list-style-type: none"> 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は、提出してください。(20ページの「2出願資格」の(2)後段該当者) 専攻科の修了(見込み)証明書及び学位授与申請予定の証明書は、出身(在籍)短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出してください。 学位授与申請書の受理証明書は、大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。

(注1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。

(注2) 英語以外の外国語で作成された書類等には、日本語訳を必ず添付してください。

(注3) 健康診断書の提出を求めていますので、受験及び修学上の配慮を必要とする志願者は、出願前に申し出てください。

(注4) 出願書類等については、本研究科入学者選抜において必要なため提出いただくものであり、これによって得た情報を、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

5 選抜方法

入学者の選抜は、実施科目等の結果並びに出願書類の審査を総合して行います。

(注) 受験する専攻(コース等)で課された試験のすべてを受験してください。一部でも欠席した者は、合格者としません。

6 試験日程・実施科目等

(1) 試験日程

令和3年2月18日(木)

※ 試験時間等の詳細については、受験票と一緒に送付する受験案内でお知らせしますので、必ずご確認願います。

※ 受験票は、令和3年1月26日(火)発送予定です。

(2) 実施科目等

①専攻・コース別の実施科目について

一般入試に準じます。(11ページ参照)

②面接(口頭試問を含む)について

全てのコースについて、「Zoomによるオンライン」で行います。

③小論文について(該当コースのみ)

試験日より前に提出をしていただきます。

小論文の詳細(問題や書式、提出方法等)については、自然科学研究科ホームページにて、令和3年1月26日(火)にお知らせします。出願するコースの実施科目に「小論文」が含まれる方は、必ずホームページを確認の上、対応願います。

7 合格発表

令和3年3月8日(月) 午前10時

新潟大学大学院自然科学研究科正面玄関において、合格者の受験番号を掲示により発表するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

なお、合格発表当日の12時頃に新潟大学大学院自然科学研究科ホームページ(<http://www.gs.niigata-u.ac.jp/>)にも合格者の受験番号を掲載します。

また、合否に関する電話等による問い合わせには一切応じません。



8 入学手続

入学手続の概要は、次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

(1) 入学手続期間

令和3年3月24日(水)～3月25日(木)

(2) 入学に要する経費

① 入学金 282,000円(予定額)

(注1) 入学金改定が行われた場合には、改定時から新入学金が適用されます。

(注2) 入学金免除等希望者は、入学手続時に入学金を納付しないでください。

(注3) 入学金を納付後、入学手続期間内に入学手続を完了しなかった(入学を辞退したものと取り扱われる)場合は、当該入学金を返還します。返還の請求については、自然科学研究科事務係に照会してください。

9 授業料

年額 535,800円(前期分 267,900円, 後期分 267,900円) [予定額]

(注1) 授業料は、入学後、口座引き落としにより納付していただきます。

(注2) 授業料の納付方法の詳細については、合格者に別途通知します。

(注3) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

10 入学金免除等について

下記のいずれかに該当する者のうち、入学手続期間内に所定の申請を行った者について、選考の上、入学金の全額又は半額を免除する制度があります。

なお、入学金徴収猶予（延納）の制度もあります。

- (1) 経済的理由により入学金の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学金の納付が著しく困難であると認められる者
- (3) 上記に準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

11 授業料免除等について

下記のいずれかに該当する者のうち、入学後、所定の期間内に申請を行った者について、選考の上、各期（前期・後期）ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

なお、授業料徴収猶予（延納）の制度もあります。

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 授業料の当該期の納期前6ヶ月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）又は納期中に、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合
- (3) 上記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

12 「教育方法の特例」（大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例）による教育について

官公庁、企業等において活躍中の社会人が博士前期課程で学ぶ場合、2年間完全に勤務を離れ学業に専念することになりますが、このような就学条件を満たすことは一般的に難しいことです。

そこで、このような社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条の「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」の規定に基づき、教育方法の特例を実施します。

この特例により、学生は、それぞれの研究テーマに応じ、指導教員と協議の上、通常の授業形態のほか、集中講義や夜間講義等による単位修得の便宜を受けて研究を継続させ、修士論文を作成することができます。具体的には、入学後最初の半年間は、フルタイムとし、原則として通常の時間帯における履修を行い、残りの1.5年間は、パートタイムとし、それぞれの研究テーマに応じ、夜間の授業時間帯における履修を原則とします。

また、勤務の形態によっては、通常の時間帯でも受講でき、かつ、勤務地の関係で夜間講義の受講が困難な場合は、担当教員と協議の上、週末又は夏期等の休業期間に集中講義を受講することができます。

13 長期履修学生制度

この制度は、職業を有している等の事情により、通常の標準修業年限（2年）での修了が困難と予想される者が標準修業年限（2年）を超えて履修し、修了することを可能にした制度です。

(1) 対象者

次のいずれかに該当する者を対象とします。

- ①職業を有し就業している者（自営業及び臨時雇用を含む。）
- ②出産、育児又は親族の介護を行う必要がある者
- ③心身に障がいがある者
- ④その他研究科が長期履修の必要があると認める者

(2) 修業年限

長期履修学生の修業年限は、3年又は4年とします。

なお、入学後（在学中）に修業年限を変更することも可能ですが、その場合の適用は翌年度からとなりますので注意してください。

(3) 申請方法

長期履修申請書及び勤務先所属長の承諾書等研究科が必要と認める書類を入学手続期間内に自然科学研究科学務係へ提出してください。

(4) 結果通知

申請者に対し、入学手続後に長期履修の承認通知を行います。

(5) 授業料

授業料の額は、「国立大学法人新潟大学授業料その他の費用に関する規程で定められた金額×標準修業年限（2年）÷長期履修学生の修業年限」で算出した金額（年額）となります。

なお、入学手続時には納付できません。

※ 算出例（2020年度授業料年額を基に算出）

修業年限4年の長期履修学生の場合の授業料年額

535,800 円×2年÷4年=267,900 円（年額）

（注）在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(6) その他

不明な点については、新潟大学大学院自然科学研究科学務係へ問い合わせてください。

14 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

(1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。

(3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

15 注意事項

(1) 出願後は、出願書類等の記載事項の変更は認めません。また、既納の検定料及び出願書類等は、返還しません。

ただし、検定料振込み後、出願期間内に書類を提出しなかった場合は、当該検定料を返還しますので申し出てください。

(2) その他出願に際して疑問又は不明の点があれば、次に問い合わせてください。

新潟大学大学院自然科学研究科学務係 ☎(025)262-7387

【外国人留学生特別入試】

1 募集人員

※ 出願に際しては、必ず連絡先教員（44 ページ参照）又は志望するコースの担当教員（53 ページ参照）に教育研究内容等について問い合わせの上、出願してください。

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
数理物質科学専攻	若干人	生命・食料科学専攻	若干人
材料生産システム専攻	若干人	環境科学専攻	若干人
電気情報工学専攻	若干人		

2 出願資格

外国人留学生として志願する者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者及び令和3年（2021年）3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和3年（2021年）3月までに授与される見込みの者
- (3) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生であって、次の二つの条件を満たし、かつ、本研究科が日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（【注1】参照）
 - ① 大学教育終了後、日本国内又は外国の大学、大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として1年以上研究に従事した者及び令和3年（2021年）3月までに1年以上研究に従事する見込みの者
 - ② 令和3年（2021年）3月31日までに22歳に達する者
- (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年（2021年）3月までに修了見込みの者（【注1】参照）
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年（2021年）3月までに修了見込みの者（【注1】参照）
- (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年（2021年）3月までに修了見込みの者
- (7) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3年（2021年）3月までに授与される見込みの者（【注1】参照）
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年（2021年）3月までに修了見込みの者
- (9) 文部科学大臣の指定した者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（【注1】参照）
- (11) 令和3年（2021年）3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学する予定の者で本研究科が定める単位を優秀な成績で修得する見込みがあると認めたもの及び外国の学校教育における15年の課程を修了した者（【注2】参照）

- (12) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3年(2021年)3月31日までに22歳に達する者【注3】参照)

【注1】 前記(3), (4), (5), (7)又は(10)の出願資格によって出願する者は、新潟大学大学院自然科学研究科学務係(☎(025)262-7387)に問い合わせの上、同係の指示する出願書類と共に、返信用封筒(長形3号の封筒に郵便切手384円分を貼り、志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記したもの)を提出し、事前審査を受けてください。

書類等の提出期限及び事前審査の結果通知日は、次のとおりです。

書類等は、**令和2年(2020年)11月27日(金)まで**(必着)に提出してください。

事前審査の結果は、**令和2年(2020年)12月15日付け**で本人あて通知します。

【注2】 前記(11)の出願資格によって出願する者は、別紙1(38ページ)を参照してください。

【注3】 前記(12)の出願資格によって出願する者は、別紙2(39ページ)を参照してください。

3 出願期間

令和3年(2021年)1月5日(火)から令和3年(2021年)1月7日(木)まで(期間内必着)

4 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、本要項に添付の封筒に次の書類等を入れ、出願期間内に書留速達で郵送してください。

(2) 出願書類等の提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学大学院自然科学研究科学務係 ☎(025)262-7387

(3) 出願書類等

〔志願者全員が提出するもの〕

書 類 等	摘 要
① 入学願書 受験票 写真票 履歴書	<ul style="list-style-type: none"> 本要項に添付の所定用紙を使用してください。 なお、「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を所定欄に確実に貼ってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。) 写真票の所定箇所に写真(縦4cm, 横3cmの上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの)を貼ってください。 受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。
② 卒業証明書又は 卒業見込証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身(在籍)大学長又は学部長が作成したものを提出してください。 26ページの「2出願資格」の(11)によって出願する者は、提出不要です。
③ 学業成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身(在籍)大学長又は学部長が作成し、厳封したものを提出してください。 短期大学又は高等専門学校の特攻科の修了者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と特攻科の成績証明書を提出してください。
④ 検定料納付証明書	<ul style="list-style-type: none"> 本要項に添付の「振込依頼書(新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し、窓口で検定料30,000円を振り込んでください。その後、入学願書の所定欄に検定料納付証明書(新潟大学提出用)を貼って提出してください。

	<p>なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは、下記の期間内に必ず行ってください。 (※土・日曜日、祝日の振込みはできません。)</p> <p>令和2年(2020年)12月15日(火)から令和3年(2021年)1月7日(木) [15時] まで</p> <p>③ ATM(現金自動預払機)での振込みはできません。</p>
⑤ 返信用封筒 2枚作成 〔受験票在中(長形3号) 入学手續書類在中(角形2号)〕	<ul style="list-style-type: none"> 本要項に添付の返信用封筒を使用してください。 封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 「受験票在中」(長形3号)には、郵便切手384円分を貼ってください。 「入学手續書類在中」(角形2号)には、郵便切手を貼る必要はありません。 <p>※ 転居等で受験票や合格通知書が未着となることがないように変更があった場合は、速やかに出願書類等提出先に申し出てください。</p>
⑥ パスポートの写し 又は在留カードの写し	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍を有する者は、パスポートの写し(顔写真ページおよび在留資格が記載されているページ)又は在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。

〔該当する志願者のみが提出するもの〕

書 類 等	摘 要
⑦ 受験承諾書	<ul style="list-style-type: none"> 教育機関、研究機関や地方自治体、企業等に在職している者で在職のまま入学を予定している者(勤務地が外国の場合は、除きます。)は、勤務先所属長の作成した受験承諾書(本要項に添付の所定用紙)を提出してください。 なお、合格後退職して入学する予定の場合は、本人が退職する予定である旨を明記した文書をもって受験承諾書に代えます。その場合は、入学手続時に退職証明書(又は退職見込証明書)が必要です。
⑧ 学位授与証明書	<ul style="list-style-type: none"> 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者で、それを出願資格とする場合のみ提出してください。
⑨ 短期大学又は高等専門学校 の専攻科の修了(見込み)証明書及び 学士の学位授与申請書の受理証明書 (又は学士の学位授与を大学改革支援・学位授与機構に申請予定である旨の証明書)	<ul style="list-style-type: none"> 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は、提出してください。(26ページの「2出願資格」の(2)後段該当者) 専攻科の修了(見込み)証明書及び学位授与申請予定の証明書は、出身(在籍)短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出してください。 学位授与申請書の受理証明書は、大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。

(注1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。

(注2) 英語以外の外国語で作成された書類等には、日本語訳を必ず添付してください。

(注3) 健康診断書の提出を求めていますので、受験及び修学上の配慮を必要とする志願者は、出願前に申し出てください。

(注4) 出願書類等については、本研究科入学者選抜において必要なため提出いただくものであり、これによって得た情報を、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

5 選抜方法

入学者の選抜は、実施科目等の結果並びに出願書類の審査を総合して行います。

(注) 受験する専攻(コース等)で課された試験のすべてを受験してください。一部でも欠席した者は、合格者としません。

6 試験日程・実施科目等

(1) 試験日程

令和3年(2021年)2月18日(木)

※ 試験時間等の詳細については、受験票と一緒に送付する受験案内でお知らせしますので、必ずご確認願います。

※ 受験票は、令和3年(2021年)1月26日(火)発送予定です。

(2) 実施科目等

①専攻・コース別の実施科目について

一般入試に準じます。(11ページ参照)

②面接(口頭試問を含む)について

全てのコースについて、「Zoomによるオンライン」で行います。

③小論文について(該当コースのみ)

試験日より前に提出をしていただきます。

小論文の詳細(問題や書式、提出方法等)については、自然科学研究科ホームページにて、令和3年(2021年)1月26日(火)にお知らせします。出願するコースの実施科目に「小論文」が含まれる方は、必ずホームページを確認の上、対応願います。

※コースによっては、TOEIC、TOEFL等の成績証明書の原本(スコア)が必要となりますので、志願するコースの連絡先教員に早めに問い合わせして下さい。

7 合格発表

令和3年(2021年)3月8日(月) 午前10時

新潟大学大学院自然科学研究科正面玄関において、合格者の受験番号を掲示により発表するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

なお、合格発表当日の12時頃に新潟大学大学院自然科学研究科ホームページ(<http://www.gs.niigata-u.ac.jp/>)にも合格者の受験番号を掲載します。

また、可否に関する電話等による問い合わせには一切応じません。



8 入学手続

入学手続の概要は、次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

(1) 入学手続期間

令和3年(2021年)3月24日(水)～3月25日(木)

(2) 入学に要する経費

入学料 282,000円(予定額)

(注1) 入学料改定が行われた場合には、改定時から新入学料が適用されます。

(注2) 入学料免除等希望者は、入学手続時に入学料を納付しないでください。

(注3) 入学料を納付後、入学手続期間内に入学手続を完了しなかった(入学を辞退したものと取り扱われる)場合は、当該入学料を返還します。返還の請求については、自然科学研究科学務係に照会してください。

9 授業料

年額 535,800 円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）〔予定額〕

（注1） 授業料は，入学後，口座引き落としにより納付していただきます。

（注2） 授業料の納付方法の詳細については，合格者に別途通知します。

（注3） 在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

10 入学料免除等について

下記のいずれかに該当する者のうち，入学手続き期間内に所定の申請を行った者について，選考の上，入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

また，入学料徴収猶予（延納）の制度もあります。

- (1) 経済的理由により入学料の納付が著しく困難であり，かつ，学業優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内において，本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる者
- (3) 上記に準ずる場合であって，相当の事由があると認められる者

11 授業料免除等について

下記のいずれかに該当する者のうち，入学後，所定の期間内に申請を行った者について，選考の上，各期（前期・後期）ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

また，授業料徴収猶予（延納）の制度もあります。

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる場合
- (2) 授業料の当該期の納期前6ヶ月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は，入学前1年以内）又は納期中に，学資負担者が死亡し，又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け，納付が著しく困難であると認められる場合
- (3) 上記に準ずる場合であって，学長が相当と認める事由がある場合

12 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学手続，④入学者選抜方法等における調査・研究，分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等における調査・研究，分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は，合格者のみ入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），③授業料等に関する業務を行うために利用します。
なお，個人情報のうち，合格者の氏名及び住所については，本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

13 注意事項

- (1) 出願後は，出願書類等の記載事項の変更は認めません。また，既納の検定料及び出願書類等は，返還しません。

ただし，検定料振込み後，出願期間内に書類を提出しなかった場合は，当該検定料を返還しますので申し出てください。

- (2) その他出願に際して疑問又は不明の点があれば，次に問い合わせてください。

新潟大学大学院自然科学研究科学務係 ☎(025)262-7387

【Entrance Examination for International Students】

1. Number of Students to be Admitted

※Prior to application, all foreign applicants in their nationalities and/or native languages are required to contact the personnel (see page 45) and teaching staff (see page 53) of the course, in which you are interested to enter, for the details of the entrance examination and curriculum.

※Regarding secondary admission, for all majors, please note that there are instances where entrance examinations may not be held depending on the course.

Major	Number of Students	Major	Number of Students
Fundamental Sciences	Several	Life and Food Sciences	Several
Advanced Materials Science and Technology	Several	Environmental Science and Technology	Several
Electrical and Information Engineering	Several		

2. Eligibility for Application

An eligible applicant is considered to be someone applying as an international student, conforming to any of the conditions listed below.

- (1) Those who have graduated, or who expect to graduate by March, 2021, from a university as defined in Article 83 of the School Education Act (Act No. 26 of 1947).
- (2) Those who have a Bachelor's degree or expect to obtain such a degree by March, 2021, as defined in the provisions of the School Education Act, Article 104 - 7.
- (3) Those who are international students from a country that does not require 16 years of education to graduate from a university, fulfill the following two conditions, and can be deemed to have academic ability equivalent to or greater than someone who has graduated from a Japanese university (Refer to [Note 1]).
 - ① Those who, subsequent to completion of university education, have been engaged in research for a minimum of one year at a university either in Japan or in a country other than Japan or at a suitable research institute such as an Inter-University Research Institute, or those who expect to have been engaged in research at such an institution for a minimum of one year by March, 2021.
 - ② Those who will be 22 years old by March 31, 2021
- (4) Those who have completed 16 years study of school education in a country other than Japan or those who expect to have done so by March, 2021.(Refer to [Note 1]).
- (5) Those who, while in Japan, have completed 16 years of educational curriculum of a country other than Japan by following a distance learning program provided by a school of that country, or those who expect to complete such a 16-year educational curriculum by March, 2021 (Refer to [Note 1]).
- (6) Those who have completed, in Japan, the curriculum of a university of a country other than Japan (restricted to those who have completed 16 years of curriculum in the educational system of such a country) which is established under that country's educational system and individually recognized by the Minister of Education, Sports, Science and Technology, or alternatively those who expect to have been completed the curriculum of such a university by March, 2021
- (7) Those who have a degree equivalent to a Bachelor's degree or expect to obtain such a degree by March, 2021, from a university or school of a country other than Japan by completing a course of study that is for at least 3 years (including a

distance learning program, provided by a school of that country, in Japan, or by an educational institution recognized as being part of the educational system of the country and specifically designated by the Minister of Education, Sports, Science and Technology. The university or school must be evaluated on the comprehensive quality of the education and research activities by the authorized persons of the government or relevant institution of the country or must be restricted to an institution specifically designated by the Minister of Education, Sports, Science and Technology (Refer to [Note 1]).

- (8) Those who have completed a postsecondary course of a specialized training college (course length must be at least 4 years, and conditions stipulated by the Minister of Education, Sports, Science and Technology must be fulfilled) that is individually recognized by the Minister of Education, Sports, Science and Technology on or later than the date specified by the Minister of Education, Sports, Science and Technology or alternatively those who are likely to have completed such a curriculum by March, 2021.
- (9) Those individually approved by the Minister of Education, Sports, Science and Technology.
- (10) Those who are enrolled in the graduate program of a university conforming to the School Education Act Article 102 - 2, and are later considered by the Graduate School of Science and Technology to have academic ability required for graduate education (Refer to [Note 1]).
- (11) Those who will have been enrolled in a university (in accordance with Article 83 of the School Education Act) for at least 3 years by March 31, 2021, and are considered to be on course to acquire good results for credits as defined by the Graduate School or those who have had studied under the educational curriculum in a country other than Japan for 15 years (Refer to [Note 2]).
- (12) Those who, following the individual screening of their eligibility for application, are approved as having academic ability equivalent to or greater than those with a Bachelor's degree and will be 22 years old by March 31, 2021 (Refer to [Note 3]).

[Note 1] Those eligible to apply on the basis of (3), (4), (5), (7) or (10) as outlined above should make inquiries to the Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University, (Tel. +81-25-262-7387) for further instructions. Submit the application documents as instructed by the Academic Affairs Division together with a return envelope (affix stamps to the value of 384 yen to a long self-addressed envelope including name and postal code) for the initial screening for eligibility of application.

Submission deadlines of documents and the disclosing dates for the initial screening results are listed below.

Documents must arrive by **Friday, November 27, 2020**

Initial screening results will be sent to applicants on Tuesday, December 15, 2020

[Note 2] Those eligible to apply based on (11) above should refer to Appendix 1 (page 40)

[Note 3] Those eligible to apply based on (12) above should refer to Appendix 2 (page 42)

3. Application Period

Tuesday, January 5, 2021 – Thursday, January 7, 2021 (applications must arrive within this period)

4. Application Procedure

(1) Method of Application

Applicants should enclose the following documents in the envelope provided with this application guidebook and mail to the following address. Use registered express mail and send within the application period.

(2) Submission of Application Documents:

Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University
8050 Ikarashi 2-no-cho, Nishi-Ku, Niigata City, Niigata 950-2181 Japan Tel. +81-25-262-7387

(3) Application Documents Required to be Submitted by All Applicants

Type of Document	Instructions
<p>① Application Form (「新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学願書」)</p> <p>Examination Card (「受験票」)</p> <p>Photograph Card (「写真票」)</p> <p>Curriculum Vitae (「履歴書」)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Use the designated form attached with this application guidebook. Be sure to affix the “Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University) (「検定料納付証明書 (新潟大学提出用)」)” in the space provided on the application form. (Check that the Payment Certificate has an official stamp of the financial institution handling the payment.) • Affix the photograph in the space provided on the photograph card. (This photograph should have been taken within three months prior to application and should be 4cm long by 3cm wide, clearly displaying a frontal, hatless view of the applicant’s upper body.) • If the applicant intends to wear glasses when taking the examination, he or she should also wear glasses when having the photograph taken.
<p>② Certificate of (Expected) Graduation</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Submit a certificate issued by the President of the university or the Dean of the Faculty where the applicant attended or is currently enrolled in. • This requirement does not extend to those applying according to (11) of “2. Eligibility for Application” on page 32.
<p>③ Academic Transcript(s)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Submit an official academic transcript issued by the President of the university or the Dean of the Faculty where the applicant attended, or is currently enrolled in, in a sealed envelope. • Applicants who have completed an advanced course at a junior college or KOSEN college of technology must submit academic transcripts from both their junior college or KOSEN college of technology and their advanced program of junior college or KOSEN college of technology.
<p>④ Examination Fee Payment Certificate (「検定料納付証明書 (新潟大学提出用)」)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Complete the required sections in the attached “Request for Payment by Bank Deposit Transfer (Entrance Examination Fee for Master’s Program at the Graduate School of Science and Technology, Niigata University) (「振込依頼書 (新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学試験検定料)」), the Transfer Payment and Transfer Fee Receipt (retained by the applicant) (「振込金及び手数料領収書 (志願者保存)」), and the Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University) (「検定料納付証明書 (新潟大学提出用)」).” Once they are completed, after verifying the following points, take them without detaching to a financial institution (excluding JP Bank(Yucho)) and pay the examination fee of 30,000 Japanese yen at the counter. Finally, affix the Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University) in the space provided on the application form for submission. <p>Applicants are required to bear the cost of the transfer fee.</p> <ol style="list-style-type: none"> ① Please write the applicant’s name in the space for providing the name of the person requesting the transfer. ② The examination fee must be paid within the period outlined below. (*A payment cannot be made on Saturdays, Sundays, and Japanese national holidays.) From Tuesday, December 15, 2020, to 15:00 on Thursday, January 7, 2021 ③ An ATM (Automated Teller Machine) cannot be used to transfer payment.

<p>⑤ Return Envelopes 2 Envelopes • 1 <i>envelope for examination card</i> (「受験票在中」)(long envelope) • 1 <i>envelope for admission procedure documents</i> (「入学手続書類在中」)(square envelope)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Use the return envelopes attached with this application guidebook. • Fill out the envelopes with the applicant's name, address and postal code. • Affix stamps to the value of 384 yen onto the <i>envelope containing examination card</i> (「受験票在中」)(long envelope). • It is not necessary to affix stamps onto nor the <i>envelope containing admission procedure documents</i> (「入学手続書類在中」)(square envelope). <p>* Applicants should notify the Graduate School immediately in the event of changing their addresses, as otherwise the examination cards or the admission letters may not be delivered properly.</p>
<p>⑥ Copies of Passport or Residence Card</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Non-Japanese applicants should submit copies of their passport (showing photograph and residential status) or both sides of their Residence Card.

[The following items are only to be submitted by applicants to whom they are relevant]

Type of Document	Instructions
<p>⑦ Letter of Consent for Taking Examination</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Those who are currently employed in an educational institution, a research institution, a local government body, or a corporation and wish to apply for admission while remaining in employment (excluding those who are employed outside Japan) should submit a Letter of Consent for Taking Examination (Use the attached form) issued by the head or representative of their employing organization. • Applicants who intend to resign from their post of employment after passing the examination are required to provide a letter explaining their intention to resign from their post instead of a Letter of Consent for Taking the Examination. In this case, the applicants are required to provide a certificate of resignation (or certificate of intention to resign) during the admission procedure.
<p>⑧ Certificate of Bachelor's Degree</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Submit this only in cases where the applicant possesses a Bachelor's degree from National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education, and when this is used to prove their application eligibility.
<p>⑨ Certificate of (expected) completion of an advanced course of a junior college / technical college, and a certificate of receipt of an application form for award of a Bachelor's degree (or a certificate showing intent to apply National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education for the award of a Bachelor's degree)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • These certificates must be submitted by applicants who are on course to be awarded a Bachelor's degree from National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education (latter party of (2) in "2. Eligibility for Application" on page 31). • Submit the (expected) completion certificate of an advanced course of the junior college or KOSEN college of technology and the certificate showing intent to apply for award of a Bachelor's degree issued by the Dean of the junior college or KOSEN college of technology where the applicant attended or is currently enrolled in. • Submit the certificate of receipt of an application form for the award of a Bachelor's degree validated by the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education.

- [Notes]
- (1) Inadequately completed application documents may not be accepted.
 - (2) **Please note that a Japanese translation must be appended to all documents that are written in a foreign language other than English.**
 - (3) **Although the submission of a health certificate is not mandatory, those who require special attention for the entrance examinations and/or study should make their needs known before applying.**
 - (4) Submitted application documents are used for the purposes of selecting students for the Graduate School. Therefore, the information obtained will not be used for any other purposes or provided to any third parties without the prior consent of the applicant, except in cases prescribed by Article 9 of the Law relating to the protection of personal information retained by independent administrative institutions.

5. Method of Selection

Admission selection is based on the evaluation of application documents and examinations.

[IMPORTANT] Must take all the examinations assigned by your applied major (or course, etc.). Those who failed to take all the assigned examinations will not be admitted.

6. Examination Schedule and Examination Subjects

(1) Examination Schedule

General Entrance Examination will be conducted on **Thursday, February 18, 2021**

※Detailed information about the time schedule will be notified to the applicants together with the examination card.

※The examination cards are scheduled to be mailed out to the applicants on **Tuesday, January 26, 2021**

(2) Examination Subjects

①Examination Subjects for each Major/Course

Confirm to General Entrance Examination (see page 11)

②Interview (includes Oral Examination)

Interviews will be conducted via online video communication tool Zoom for all courses.

③Short Essay (when applicable)

Submission due is prior to the examination date.

Details (theme, form, submission method and so on) will be announced on the Graduate School of Science and Technology website (<http://www.gs.niigata-u.ac.jp/>) on Tuesday, January 26, 2021.

Applicants who apply to the course which set short essay as a part of their examination, must confirm the announcement and take appropriate response.

※Some courses require to submit the original score report of TOEIC or TOEFL English language test, applicants must contact personnel of the course (listed in page 45) which they are applying for in advance.

7. Announcement of Admission Decision

10:00 on Monday, March 8, 2021



- The examinee numbers of successful applicants will be posted on the bulletin board in the front hall of the Graduate School of Science and Technology, Niigata University, and admission letters will also be issued to successful applicants by mail.
- The examinee numbers of successful applicants will also be made available online (<http://www.gs.niigata-u.ac.jp/>) around 12:00 of the day of the announcement.
- No telephone inquiries about the test results will be answered.

8. Admission Procedure

The following is the general information about the university admission procedure.

Detailed information will be notified to successful applicants.

(1) Admission Procedure Period

Wednesday, March 24, 2021 and Thursday, March 25, 2021

(2) Entrance Fee

Entrance Fee 282,000 Japanese yen (provisional)

[Note 1] If the entrance fee is revised, the new revised entrance fee will apply from the date of revision.

[Note 2] Those who wish to be exempted from paying the entrance fee should not pay it during the admission procedure.

[Note 3] Those who have not completed the admission procedure within the specified period after paying the entrance fee (considered as admission refusal) will have the entrance fee fully reimbursed. Enquiries about reimbursement of entrance fee should be addressed to the Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University.

9. Tuition

Tuition is 535,800 Japanese yen per annum (first semester 267,900 yen, second semester 267,900 yen) (provisional)

[Note 1] Tuition should be paid by direct debit subsequent to admission.

[Note 2] Detailed information about payment method for tuition will be notified separately to successful applicants.

[Note 3] If tuition is revised while students are enrolled, the new amount will apply from the date of revision.

10. Entrance Fee Exemption

There is a program under which consideration can be given to exempt all or half of the entrance fee for applicants who apply for this exemption program within the prescribed period after admission and meet any of the criteria listed below.

There is also a program where payment of the entrance fee may be postponed (deferred payment).

- (1) Outstanding students who, for economic reasons, have difficulty in paying the entrance fee.
- (2) Students who have great difficulty in paying the entrance fee in the event that during the year preceding their admission either the person mainly responsible for paying the tuition (hereinafter “tuition fee payer”) died, or because of other mitigating circumstances such as either the student or the tuition fee payer being a victim of storm or flood damage.
- (3) Applicants deemed by the university as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

11. Tuition Exemption

There is a program under which students may be exempted from paying all or half of the tuition (following consideration) if they apply for this exemption program within the prescribed period after admission and meet any of the criteria listed below.

There is also a program under which payment of tuition may be postponed.

- (1) Outstanding students who, for economic reasons, have difficulty in paying their tuition.
- (2) Students who have great difficulty in paying their tuition in the event that during the six months preceding their admission (or within one year prior to admission if only applying for the tuition exemption for the semester that the newly admitted students entered the university) or during the payment period, tuition fee payer died or because of other mitigating circumstances such as either the student or the tuition fee payer being a victim of storm or flood damage.
- (3) Applicants deemed by the university president as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

12. Handling of Personal Information used in Selection of Students for Admission

- (1) Names, addresses and other personal information communicated at the time of application are used for the following purposes: ①selection of students for admission (application process, selection), ②admission announcements, ③ admission procedure, ④surveys, studies and analyses relating to the method of selecting students for admission and ⑤ carrying out any other work associated with these.
- (2) Personal information about examination results used in selecting students for admission is used for surveys, studies and analysis relating to the method of selecting students for admission.
- (3) Personal information provided at the time of application and entrance examination results are used, in connection with successful candidates after admission only, for the followings: ①academic affairs matters (university register, study guidance, etc.), ②student support matters (health care, scholarship applications, etc.) ③matters related to tuition fees, etc.

Personal information, such as names and addresses of successful applicants, may be used to enable class reunions and support groups at this university to contact them.

13. Important Points

- (1) After submission, no alterations may be made to information contained in application documents. Furthermore, examination fee and application documents cannot be returned once they have been submitted. However, in the event that the applicant does not submit the application documents within the application period subsequent to having paid the

examination fee by bank transfer, he or she should apply to have the examination fee reimbursed.

- (2) For any additional questions or queries about application, please do not hesitate to contact the Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University Tel. +81-25- 262-7387

別紙1

令和3年(2021年)3月31日までに「学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学する予定の者で本研究科が定める単位を優秀な成績で修得する見込みがあると認めたもの」及び「外国の学校教育における15年の課程を修了した者」の出願手続き等について

- 本研究科において、次の(1)～(3)の条件を満たす者について審査し、出願資格を認定します。ただし、学校教育法の規定に基づき、大学に「編入学」した者(短期大学や高等専門学校等を卒業した者などが対象)は、適用されません。

(1) 在学期間について

学校教育法第83条に定める大学の在学期間が令和3年3月末において3年以上に達すること、又は外国の学校教育における15年の課程を修了した者であること。

なお、休学した期間は、在学期間に含まないものとします。

(2) 修得単位について

- ・ 「学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学する予定の者」については、令和3年3月末において、100単位以上(第3年次までに修得する必要がある授業科目の単位を含む。)を修得見込みであること。
- ・ 「外国の学校教育における15年の課程を修了した者」については、制約はありません。

(3) 学業成績について

- ・ 「学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学する予定の者」については、令和3年3月末において、修得単位の4/5以上が最上位の評語又は80点以上を得る見込みであること。
- ・ 「外国の学校教育における15年の課程を修了した者」については、修得単位の4/5以上が最上位の評語又は80点以上であること。

(注) 「学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学する予定の者」で、入学試験で「合格」と判定された者が上記(1)、(2)及び(3)に定める所定の在学期間、単位及び成績を得られない場合は、入学を許可することはできません。

- **事前資格審査**を行いますので、志願者は、次の書類等と「4出願手続」の(3)に記載の「出願書類等〔④検定料納付証明書を除く。〕を一括して、令和2年11月27日(金)までに新潟大学大学院自然科学研究科学務係に郵送(必着)してください。(提出する証明書等の関係書類(英語以外の外国語)は、必ず日本語の訳文を添付してください。)

「**学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学する予定の者**」

- (1) 在学証明書
- (2) 返信用封筒(審査結果通知用。封筒(長形3号)に郵便切手384円分を貼り、志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記したもの。)
- (3) 在籍大学の履修の手引き(授業内容一覧も含む。本学在学者は、提出不要。)及び履修計画書
- (4) 在籍大学の受験許可書(本学在学者は、提出不要。)

「**外国の学校教育における15年の課程を修了した者**」

返信用封筒(審査結果通知用。封筒(長形3号)に郵便切手384円分を貼り、志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記したもの。)

この出願資格によって出願する者については、本研究科において事前資格審査を行いますので、これが終了するまでは、出願書類等の受理を保留します。

なお、事前資格審査の結果は、**令和2年12月15日**付けで本人あて通知します。出願資格の認定を受けた者は、所定の期間内に本要項に添付の「振込依頼書(新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)」に必要事項を記入し、最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。その後、出願期間内(必着)に「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を提出してください。

- 「**学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学する予定の者**」

- ・ 入学試験で「合格」と判定された者は、**令和3年3月25日(木)**までに在学大学(学部)長が発行する学業成績証明書(第3年次修了時までの成績が記載されたもの)を本学自然科学研究科学務係まで提出してください。
- ・ この出願資格により入学する者は、当該大学(学部)を退学することになります。したがって、種々国家試験等の受験資格で、大学(学部)を卒業していることを要件としているものについては、受験資格が得られないこととなりますので、承知しておいてください。

「本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3年(2021年)3月31日までに22歳に達するもの」の出願資格等について

本研究科において、入学希望者個人の能力等の個別審査により出願資格を認定します。

1 出願資格審査対象者

個別の出願資格審査の対象となる者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の国内外の教育施設の修了者等で、令和3年3月31日までに22歳に達するものです。

2 出願資格審査方法等

出願資格審査では、上記学校等での学習内容、卒業(修了)後の教育機関、研究機関及び企業等における実務・研究内容並びに著書、学術論文、学術講演、学術報告及び特許等を審査します。

出願資格審査で「大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者」に本研究科への出願資格を認め、出願書類を受理します。

3 出願資格審査結果通知

出願資格審査の結果は、令和2年12月15日付けで本人あて通知します。出願資格の認定を受けた者は、所定の期間内に本要項に添付の「振込依頼書(新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)」に必要事項を記入し、最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。その後、出願期間内(必着)に「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を提出してください。

4 出願資格審査手続等

出願資格審査を受けようとする者は、次表の「審査書類等」と「4出願手続」の(3)に記載の「出願書類等〔④検定料納付証明書を除く。〕を一括して、令和2年11月27日(金)までに新潟大学大学院自然科学研究科学務係に郵送(必着)してください。(提出する証明書等の関係書類(英語以外の外国語)は、必ず日本語の訳文を添付してください。)

なお、審査書類等を提出する前に必ず志望するコースの担当教員又は連絡先教員の指示を受けてください。
[審査に必要な書類等]

審査書類等	摘 要
(1) 卒業(修了)証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校長が作成したものを提出してください。 短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と専攻科等の修了証明書を提出してください。
(2) 学業成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校長が作成したものを提出してください。 短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の卒業証明書と専攻科等の成績証明書を提出してください。
(3) 入学試験出願資格認定審査調書	<ul style="list-style-type: none"> 本要項に添付の所定用紙に記入してください。
(4) 研究業績書	<ul style="list-style-type: none"> 本要項に添付の所定用紙に、著書、学術論文、学術講演、学術報告及び特許等を記載し、その業績を表す文書等の写しを添付してください。
(5) 研究経過報告書	<ul style="list-style-type: none"> 本要項に添付の所定用紙に、学校等卒業(修了)後の教育機関、研究機関及び企業等における調査研究等(短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は、専攻科等における研究状況等を含む。)を詳細に記載してください。
(6) 返信用封筒(審査結果通知用)	<ul style="list-style-type: none"> 封筒(長形3号)に志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、郵便切手384円分を貼ったものを提出してください。

Appendix 1

Regarding application eligibility for “those who will have been enrolled in a university (in accordance with Article 83 of the School Education Act) for at least 3 years by March 31, 2021, and is considered to be on course to acquire good results for credits as defined by the Graduate School, or those who have had studied under the educational curriculum of a country other than Japan for 15 years”

○The Graduate School will confirm the eligibility for application by screening applicants who fulfill the following conditions in (1) - (3). However, in accordance with the School Education Act, these conditions do not apply to those who have entered the university as “transfer students (those who have graduated from junior college or KOSEN college of technology).”

(1) Period of Enrollment

Enrollment in a university, stipulated by Article 83 of the School Education Act, for more than 3 years by the end of March, 2021, or alternatively completion of 15 years of educational curriculum in a country other than Japan is required. Periods of temporary absence from university will not be included in the period of enrollment.

(2) Credit Acquisition

- For “those who expect to be enrolled in a university stipulated by the School Education Act for more than 3 years,” 100 or more credits shall be expected to be acquired by the end of March, 2021, including course credits that are required to be acquired by the end of the 3rd year).
- There are no restrictions for “those who have completed 15 years of educational curriculum in a country other than Japan.”

(3) Scholastic Performance

- “Those who expect to be enrolled in a university stipulated by Article 83 the School Education Act for more than 3 years” are required to have the highest grades for at least 4/5 of acquired credits or are expected to score higher than 80 points, as of the end of March, 2021.
- “Those who have completed 15 years of educational curriculum in a country other than Japan” are required to have the highest grades for at least 4/5 of acquired credits or are expected to score higher than 80 points.

(Note) For “those who expect to be enrolled in a university stipulated by Article 83 of the School Education Act for more than three years” and who are judged to have “passed” the entrance examination but are unable to gain the specified period, credits, and grades as outlined in (1), (2) and (3) above, the admission to the Graduate School cannot be granted.

○An **eligibility screening** will be conducted. Therefore, those wishing to apply should submit the following documents with the “Application Documents” (excluding the Examination Fee Payment Certificate in ④) detailed in (3) of “4 Application Procedure” by mail to the Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University. Documents must arrive by **Friday, November 27, 2020**.

(A Japanese translation must be appended for any documents, including certificates, which are written in a foreign language other than English).

“Those who expect to be enrolled in a university stipulated by Article 83 the School Education Act for more than 3 years”

- (1) Certificate of Student Status
- (2) A return envelope (for announcing result of the eligibility screening. Affix stamps to the value of 384 yen to a long envelope and clearly mark it with the name, address and postal code of the applicant)
- (3) Course outline of the university currently enrolled in (including a summary of class contents. Not required for current students of Niigata University) together with study plan.
- (4) Examination permit from the university currently enrolled in (Not required for current students of Niigata University)

“Those who have completed 15 years of educational curriculum in a country other than Japan”

A return envelope (for announcing result of the eligibility screening. Affix stamps to the value of 384 yen to a long envelope and clearly mark it with the name, address and postal code of the applicant)

For those applying with the above application eligibility, the Graduate School will defer accepting application documents until the eligibility screening process is completed.

Results of the eligibility screening will be sent to the applicants on **Tuesday, December 15, 2020**.

Those who have received the confirmation of eligibility should, within the specified period, complete the required items in the attached “Request for Payment by Bank Deposit Transfer (Graduate School of Science and Technology, Niigata

University, Master's Program Entrance Examination Fee) (「振込依頼書 (新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学試験検定料)」), the Transfer Payment and Transfer Fee Receipt (retained by the applicant) (「振込金及び手数料領収書 (志願者保存)」) and the Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University) (「検定料納付証明書 (新潟大学提出用)」), take them without detaching to a financial institution (excluding JP Bank (Yuucho)) and pay the examination fee at the counter. Make sure that the Payment Certificate has an official stamp of the financial institution handling the payment. After the payment, submit the Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University) within the application period.

○“Those who expect to be enrolled in a university stipulated by Article 83 the School Education Act for more than 3 years”

- Those who are judged to have “passed” the entrance examination, please submit the academic transcript issued by the President of the university (or the Dean of the Faculty) which they are currently enrolled in (including grades up to the end of the third year) to the Academic Affairs Division of the Graduate School of Science and Technology, Niigata University, by **Thursday, March 25, 2021**.
- Those admitted through this eligibility are required to leave their current university (undergraduate). Accordingly, please be aware that it will not be possible to acquire examination qualifications for various national exams which require graduation from university (undergraduate) once the applicant leaves his or her current university.

Appendix 2

Regarding application eligibility for “Those who, following the individual screening of their eligibility for application, are approved as having the academic ability equivalent to or greater than those with a Bachelor’s degree and who will be 22 years old by March 31, 2021”

The Graduate School will confirm the eligibility for application through individual screening including the ability of each applicant.

1. Applicants Subject to Screening for Eligibility

Applicants subject to screening for eligibility are those who have completed education at junior colleges, KOSEN colleges of technology, specialized training colleges, and other kinds of schools, and those who have completed education at other educational institutions in Japan or a country other than Japan, and who will be 22 years old by March 31, 2021.

2. Screening Method for Eligibility

The eligibility screening will look into the followings: details of studies at above-mentioned schools, details of practical work experience and research details at educational institutions, research institutions or corporations following graduation, including publications, academic theses, academic papers, academic lectures, academic reports and patents, etc.

The eligibility screening will be conducted to confirm the eligibility to apply for the Graduate School as “those approved to have academic ability equivalent to or greater than that of someone holding a Bachelor’s degree,” and then, application documents will be accepted.

3. Announcement of Results for Eligibility Screening

Results of the eligibility screening will be sent to the applicants on, **Tuesday, December 15, 2020.**

Those who have received the confirmation of eligibility should, within the specified period, complete the required items in the attached “Request for Payment by Bank Deposit Transfer (Entrance Examination Fee for the Master’s Program at the Graduate School of Science and Technology, Niigata University) 「振込依頼書 (新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学試験検定料)」), the Transfer Payment and Transfer Fee Receipt (retained by the applicant) (「振込金及び手数料領収書 (志願者保存)」) and the Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University) (「検定料納付証明書 (新潟大学提出用)」), take them without detaching to a financial institution (excluding JP Bank (Yuucho)) and pay the examination fee at the counter. Make sure that the Payment Certificate has an official stamp of the financial institution handling the payment. After the payment, submit the Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University) within the application period.

4. Procedure for Eligibility Screening

Those who wish to apply for the eligibility screening should submit the “Screening Documents” in the following table with the “Application Documents” (excluding the Examination Fee Payment Certificate in ④) detailed in (3) of “4. Application Procedure” by mail to the Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University.

Documents must arrive by **Friday, November 27, 2020.**

(A Japanese translation must be appended for any documents, including certificates, which are written in a foreign language other than English).

Before applying, applicants are required to contact the contact personnel or a teaching staff of the course, in which you aim to be admitted.

[Documents Required for Screening]

Screening Document	Instructions
(1) Certificate(s) of Graduation (or Completion)	<ul style="list-style-type: none">• Submit a certificate issued by the President of the university the applicant attended.• Applicants who have completed an advanced course program at a junior college or KOSEN college of technology must submit certificates from both their junior college or KOSEN college of technology and their advanced course programs of the junior college or KOSEN college of technology.
(2) Academic Transcript(s)	<ul style="list-style-type: none">• Submit an official transcript issued by the President of the university the applicant attended.• Applicants who have completed an advanced course program at a junior college or technical college must submit academic transcripts from both their junior college or KOSEN college of technology and their advanced course programs of the junior college or KOSEN college of technology.

(3) Application Form for Eligibility Screening of Entrance Examination	<ul style="list-style-type: none"> • Fill in the designated form attached in this application guidebook.
(4) Research Achievement Report	<ul style="list-style-type: none"> • Fill in the attached form and submit with copies of the applicant's achievement details, such as publications, academic theses, academic papers, academic lectures, academic reports, patents, etc.
(5) Research Progress Report	<ul style="list-style-type: none"> • Use the attached form to provide details of research and study at educational institutions, research institutions and corporations, after graduating from (or completing) school (including research carried out while in advanced course programs if completed such programs at junior colleges or KOSEN colleges of technology)
(6) Return Envelope (For announcing result of the eligibility screening)	<ul style="list-style-type: none"> • Clearly mark a long envelope with the name, address, and postal code of the applicant and affix postage stamps to the value of 384 yen.

コースの連絡先教員一覧表 (博士前期課程)

専攻名	コース名	連絡先	連絡先電話番号
数理物質科学専攻	物理学	石川文洋	(025)262-7292
	化学	佐藤敬一	(025)262-6195
	数理学	應和宏樹	(025)262-6126
材料生産システム専攻	機能材料科学	武田直也	(025)262-7342
	素材生産科学	青木俊樹	(025)262-7280
	機械科学	安部隆	(025)262-6795
	社会システム工学	長尾雅信	(025)262-6342
電気情報工学専攻	情報工学	山崎達也	(025)262-7499
	電気電子工学	新保一成	(025)262-7543
	人間支援科学	堀潤一	(025)262-6733
生命・食料科学専攻	基礎生命科学	伊東孝祐	(025)262-7029
	応用生命・食品科学	佐藤努	(025)262-6638
	生物資源科学	深井英吾	(025)262-7884
環境科学専攻	自然システム科学	石崎智美	(025)262-5184
	流域環境学	稲葉一成	(025)262-6651
	社会基盤・建築学	赤林伸一	(025)262-7266
	地球科学	栗田裕司	(025)262-6374
	災害環境科学	安田浩保	(025)262-7053
	東アジア大気環境学(連携講座)	中田誠	(025)262-6624

Enclosure 3

List of Course Contact Personnel (Master's Program)

Major	Course	Contact	Number
Fundamental Sciences	Physics	ISHIKAWA Fumihiro	(025)262-7292
	Chemistry	S A T O K e i i c h i	(025)262-6195
	Mathematical Science	O H W A H i r o k i	(025)262-6126
Advanced Materials Science and Technology	Materials Science and Technology	T A K E D A N a o y a	(025)262-7342
	Applied Chemistry and Chemical Engineering	A O K I T o s h i k i	(025)262-7280
	Advanced Mechanical Science and Engineering	A B E T a k a s h i	(025)262-6795
	Management of Social Innovation Engineering	N A G A O M a s a n o b u	(025)262-6342
Electrical and Information Engineering	Information Engineering	YAMAZAKI Tatsuya	(025)262-7499
	Electrical and Electronic Engineering	SHINBO Kazunari	(025)262-7543
	Human Sciences and Assistive Technology	H O R I J u n i c h i	(025)262-6733
Life and Food Sciences	Life Sciences	I T O K o s u k e	(025)262-7029
	Applied Life and Food Sciences	S A T O T s u t o m u	(025)262-6638
	Agriculture and Bioresources	F U K A I E i g o	(025)262-7884
Environmental Science and Technology	Natural Environmental Science	ISHIZAKI Satomi	(025)262-5184
	Environmental Science for Agriculture and Forestry	I N A B A K a z u n a r i	(025)262-6651
	Architecture and Civil Engineering	A K A B A Y A S H I S h i n i c h i	(025)262-7266
	Earth Science	K U R I T A H i r o s h i	(025)262-6374
	Natural Disaster and Environmental Science	Y A S U D A H i r o y a s u	(025)262-7053
	Atmospheric Environment Sciences in East Asia (Cooperation course)	N A K A T A M a k o t o	(025)262-6624

Ⅲ 自然科学研究科の概要 (博士前期課程)

(1) 専攻・コースの概要

【1. 数理物質科学専攻】

物理，化学，数学関係の教育者が有機的に集まった教育体系により，宇宙規模から，ミクロな素粒子の領域まで，最前線の教育研究を行います。物質の性質と自然の仕組みを基本から理解し，かつ各種実験技術を習得し，社会で活躍できる優れた人材，および研究の最前線の体験により得られた見識と独創性を生かせる教育研究者の養成を目指します。

コース名	コースの概要
物理学	量子科学の分野では，最先端の量子科学的手法を駆使し，凝縮体の電子・イオン物性の量子レベルからの解折と新物質の探索・物性予知の先端的研究を行います。21世紀のIT，ナノ，バイオの研究を支える知的基盤としての量子科学の最新の研究・探究を行うと共に，国内外の先端研究者との共同実験・研究も行います。粒子・宇宙物理学の分野では，物質の基本構成要素としての素粒子，原子核，それらの集合体の宇宙，およびビッグバンからのシナリオを基本粒子間の力とその基本量子法則に基づいて探究する研究を行います。物理教育の分野では，大学・高校の物理授業におけるアクティブ・ラーニング型教授法やICT活用，物理教育史について研究を行います。さまざまな物質構造の基本を理解し，研究の最前線の体験を通して情報の収集の能力を備えた教育研究者の養成を目指します。
化学	原子核から無機物質，有機物質，生体高分子におよぶ様々な物質の化学的性質，構造や反応について，実験および理論に基づき原子・分子レベルから解明します。重元素の核的・化学的性質の解明，イオン・分子間の反応機構の解明，物質の固体・液体状態の構造とダイナミクスの解明，電子およびスピン制御による反応機構の解明と新機能材料の開発，微量金属イオンの溶液内反応と構造に基づく分離・濃縮定量法の開発，有機化合物の構造と反応機構に基づく新合成法開発と機能物質創製，ゲノム情報を利用した生体高分子の機能解析と生体組織の高次機能解明について教育研究を行います。
数理学	本コースでは，秩序立てた論理的な考え方と問題解決能力を有した人材の育成を目指し，数学，情報学の理論と応用について教育研究を行います。特に，作用素論，作用素環論，非線形解析学，凸解析学，偏微分方程式論，可換環論，代数幾何学，数論，トポロジー，微分幾何学，グラフ理論，時系列解析や数理ファイナンスなどの数理統計学の理論，数理計画やオペレーションズ・リサーチなどの最適化理論，数値シミュレーションなどについて教育研究を行います。

【2. 材料生産システム専攻】

本専攻は、材料系、化学系、機械系の教員で構成され、異分野領域技術の融合による先端材料の創製、新機能性物質と新材料の設計・開発・評価、高機能性材料の化学的開発と環境調和型生産プロセス、および機械基盤科学・生産システム科学・材料制御科学に関する教育研究を行います。また、知的材料の開発研究から実製品への応用開発や循環型社会形成に必要な廃棄・再資源化を考慮した材料開発に対応できる材料に関する高度な総合科学的知識を身につけた問題発見能力を有する人材の育成を行います。

コース名	コースの概要
機能材料科学	<p>次世代機能性材料の物性探索・解明、材料設計・開発および評価において活躍する人材を育成します。</p> <p>物性系では、超伝導・磁性材料、薄膜太陽電池や光エレクトロニクス材料、金属-水素系材料の開発・応用、核スピン・エレクトロニクスなどを基礎として、材料科学の基礎理論から医療応用につながる教育研究を行います。</p> <p>開発系では、人工光合成材料、ナノ材料、精密構造材料、ハイブリッド材料、生体触媒、医療材料等の有機・無機材料の創製・評価を中心に材料に関する基礎科学から応用技術につながる教育研究を行います。</p>
素材生産科学	<p>応用化学の分野では、原子・分子レベルからその集合体の設計、合成、機能解析に基づく無機、有機、高分子およびそれら複合体から構成される新規高機能性物質・材料の開発、太陽エネルギーの化学エネルギーへの変換、廃棄物を出さない化学変換、環境分析・評価などの環境負荷低減のための化学技術の応用に関する教育研究を行います。また、化学工学の分野では、高機能性材料の開発、低環境負荷型生産技術の開発などを通して持続可能社会の構築に貢献できる研究者・技術者を養成します。そのために、各種材料の高次構造を設計開発する手法やエネルギーや環境に配慮して工業的規模で生産する技術、環境保全技術を俯瞰的視点から教育研究を行います。</p>
機械科学	<p>ナノからマクロのレベルでの機械、材料、生産システムに関わる技術開発、材料制御技術開発、機械装置の超機能性、生体機械工学に基づく高機能性デバイス開発、機械や装置の安定性と安全性評価等に対応しうる人材育成を目指した教育研究を行います。高機能性材料などの設計・製造・開発・応用、生産システムを構築する機械・構造系の動的特性の統合解析、MEMSによる革新的物性・機能付与を推進し、社会が求める人材の育成を行います。</p>
社会システム工学	<p>諸科学の修得と実践的学修に基づくイノベータ教育を実施し、社会を牽引するイノベーション・リーダーを育成します。その素養は自然科学、人文社会科学、医科学の広範囲につながる分野を理解すること、コミュニケーションを通じてチームを構成し、多様な見識を統合して社会の課題に対する解答を提示、実行することにあります。そのため、諸科学の知識を修得し、これらの知識を社会において実践的に応用する学修を繰り返し、イノベーションを生み出す能力を高めるカリキュラムを特徴としています。実践学修サイクルでは特定研究を課さず、企業等と共同で取り組むコースワークである「技術経営プロジェクト」を核として、座学と併用しながら学習の深化と確実なスキルの修得を図ります。</p>

【3. 電気情報工学専攻】

数理学，情報科学，情報通信，電気電子工学，機械工学，医療工学，感性科学などの分野において，深い専門的知識と高度の応用力をもち，幅広い視野と豊かな人間性・倫理性，コミュニケーション能力を備え，教育・研究・開発・設計・製造・企画・管理など知的で創造的な業務に従事する高度な専門的職業人として活躍し，安全・安心・健康で文化的な社会の創造や産業界の発展に貢献できる人材を育成します。

コース名	コースの概要
情報工学	<p>本コースでは，知能情報，情報通信技術，および情報数理の教育研究を通して，社会や産業界に貢献し，高度情報化社会の将来を担う人材の育成を目指します。知能情報分野においては，メディア情報の分析と生成，人間とコンピュータ間の円滑な情報交換技術，人工知能，空間情報システム，数理的アプローチによる分析と構成手法の確立などの教育研究に力を入れています。情報通信分野においては，特に，移動通信，ネットワーク工学，アドホックネットワーク，波動情報工学に関する教育研究を行います。情報数理分野においては，代数学，解析学などの教育研究を行います。</p>
電気電子工学	<p>電力・エネルギーシステムやエレクトロニクス，情報通信システムなど，社会の発展を支える電気電子工学の分野に関する基礎から応用まで専門知識を深めるための教育研究を行います。特に，電力・エネルギー機器，プラズマ理工学，超伝導電力システム，超伝導応用工学，薄膜工学，有機エレクトロニクス，バイオエレクトロニクス，分子・光電子デバイス，ナノフォトニクス，量子エレクトロニクス，光応用計測，光画像処理，通信システム，信号処理工学，画像工学，映像情報処理などに関する最先端の研究を行うとともに，指導的な立場で幅広く活躍できる電気電子技術者や研究者を育成する教育を行います。</p>
人間支援科学	<p>人間支援科学コースでは，高齢者・障害者を含むすべての人の心身の健康および生活の質を維持・改善するために，ソフトウェア技術等を共通基盤とし，文理融合型の学際的な視点による生体医工学・医療福祉工学・認知科学・感性情報学・デザイン学・スポーツ科学分野の人材育成を目指します。そのために生体情報工学，神経生理工学，支援システム，コミュニケーション支援技術，移動支援工学，支援機器要素技術，視覚情報処理，音声聴覚情報処理，デザイン表現，音楽制作・表現，スポーツバイオメカニクス，運動生理学などの教育研究を行います。</p>

【4. 生命・食料科学専攻】

生物学の基礎から農学，さらにその関連産業部門までの幅広い応用領域をカバーしており，ゲノムからポストゲノムへと展開する現代の生命科学の潮流をふまえ，生命現象の根源的理解，新技術の開発，地域の産業や環境の改善に先駆的かつ多面的に対応する人材の養成を行います。学部における専門教育の内容に関わりなく，「食と農」，「環境との調和」に強い関心を有する学生を幅広く受け入れます。

コース名	コースの概要
基礎生命科学	<p>動植物の発生・形態形成，器官分化，細胞分化，細胞間相互作用，環境応答，遺伝情報発現，細胞小器官，細胞内超分子構造，タンパク質や糖鎖など，生物個体レベルから分子レベルにわたる各種の視点から，生命科学の時代にふさわしい先端的な基礎生物学の教育・研究を行います。学生には，細分化された個々の専門分野にとらわれすぎることなく，生命現象に関する幅広い知識と視野を身につける姿勢が望まれます。</p>
応用生命・食品科学	<p>本コースでは，バイオサイエンス・バイオテクノロジーに関する専門知識・技術を習得し，生物関連分野で活躍できる優れた人材の育成を目指しています。生物の有用機能を応用することにより生物資源・食品・環境に関する諸課題を解決することを目標とし，植物および微生物ゲノムの機能とその制御，微生物が生産する生理活性物質，酵素およびその遺伝子の高度利用，有用植物の作出・育種，高品質多収栽培，施肥管理，土壌－微生物－植物間相互作用，地球環境の保全・修復，木質バイオマス資源の開発・有効利用，持続可能な農林業生産，食品の原材料，加工・製造技術，栄養・生理機能，安全性，機能性食品素材の開発に関する先端的な研究を行います。</p>
生物資源科学	<p>基礎農学，フィールドサイエンス，バイオテクノロジーなどの技術的研究を通じて農業を支える植物・動物資源の生産機構の改善と生産性向上，複合的生態系の維持に関する諸問題の解決に必要な研究を行うとともに，農山村開発，持続的な農業の発達，農林産物流通など関連産業の振興に関する諸問題の解決に必要な研究を行います。このため，食料・資源管理学分野，資源植物生産学分野，資源動物科学分野の3分野が設けられています。</p>

【5. 環境科学専攻】

日本の代表的な多雪地域で日本海に面する新潟から東北アジア,さらには地球的規模までといった幅広い領域を対象としてその環境と構造を探求し,グローバルな視野で地圏・水圏・生物圏と人間社会との相互関係を理解し,研究の最前線の体験を通して自然環境から都市・農山村環境を創り出せる独創性に富む人材の養成を行います。また,外国人と十分意志疎通のできる国際性豊かな人材を育てます。

コース名	コースの概要
自然システム 科 学	<p>物理学・地球科学・化学・生物学にわたる基礎理学の学習で得られた知識を適用し,グローバルな視点から,環境システムの維持機構を多角的に解明できる人材の育成を行います。この目的の実現のために,超高層大気中における原子分子反応過程や大気・海洋現象の物理学的解析,機能性材料や光エネルギー変換物質の物理化学的特性の理解,環境関連物質の循環機構の解明などの物質やエネルギーの循環機構を理解できる能力を身につけるための教育・研究や,地質の発達過程やそれに伴うさまざまな地球科学的諸現象の理解,生物の遺伝的多様性と環境適応機構の解明などを通して,地圏や生物圏における環境を把握し,理解できる能力を身につけるための教育・研究を行います。</p>
流域環境学	<p>流域を人の生活や資源循環の一単位と考え,人間の生存基盤を提供する森林と,人間が働きかけ食料を得る場としての農地・農業を支える,森林科学・農業工学の研究を行って,人と自然の共生を可能にする知識の蓄積と技術の開発を目指します。また,世界的にも希な多雪地域であり,独特の水循環形態と動植物の生息環境が形成されてきた新潟の地にあつて,地球温暖化の影響を強く受けると考えられる水・物質循環,農林環境,農業生産活動および生態系の変動について,最先端の研究を行います。森林生態系生物学,森林資源保全・利用学,地域管理工学,農業システム工学,農業環境情報学,水循環変動学および生態系変動学の研究分野で構成されます。</p>
社会基盤・ 建 築 学	<p>都市と人間および自然環境との持続可能な共生システムの構築を目指し,社会基盤工学・建築学・都市工学に関する基礎的な知識と,豊かな計画・分析・解析力をもった環境創造技術者および建築家を養成します。具体的には,各種災害から都市・建築および人間の安全性を確保するための社会基盤施設・建築構造物の構築技術を始め,快適で安全な居住環境と自然との共生を目指した住宅・建築・都市などの空間の構成・設計計画手法や法制度,河川等の水域環境の物理的挙動・水質の解析・評価技術,および都市の景観形成とその歴史的変遷について評価・計画・活用するための技術などに関する教育研究を対象としています。</p>

【5. 環境科学専攻】

コース名	コースの概要
地球科学	<p>人類をとりまく重要な環境要素である陸域や海洋底の地層・岩石・鉱物・化石などを対象に、それらのマクロ的・ミクロ的特質を野外地質調査に根ざした地質学的研究手法で探究し、岩圏と生物圏それぞれの性質と相互作用を地球の歴史的視点から解明します。この解明を通じ、鉱物の結晶構造、海洋の形成、大陸の成長、地震活動、火山活動、表層の環境変遷、生物相の移り変わりなど、地殻～上部マントル中に記録された地球システムのダイナミックな変動の性質を理解し、国土の開発、防災、地下資源の探査、地球環境問題への取り組みなどをはじめとする幅広い分野で社会貢献できる人材の育成を目指します。</p>
災害環境科学	<p>人の生活基盤である都市から中山間地にかけての雪氷・斜面・洪水・火山土砂・地盤災害などとそれらの複合災害について、履歴解明、発生機構・予測などの基礎研究をもとに、総合的な防・減災対策の教育・研究を行います。また、近年顕在化する、急速な環境変動・社会変化にともなう災害発現の多種多様な変容への技術・対策への応用面も学びます。これらの活動を通して、問題の発見、解決、説明の三つの能力を一体的に運用できる人材を養成します。</p>
東アジア大気環境学 (連携講座)	<p>東アジア諸国はめざましい経済発展を遂げている一方で、深刻な大気汚染問題を引き起こしています。PM2.5、オゾン、酸性物質等に代表される大気汚染による健康、生態系への影響が東アジアの各地で顕在化し、さらには偏西風や季節風による越境大気汚染によって、日本にもその影響が及んでいます。本連携講座では、大気汚染物質の生成・移流・沈着プロセスの解明、森林生態系への影響評価、大気汚染問題に係わる環境経済・環境政策などの教育・研究を通して、東アジア地域の大気汚染問題の解決に貢献できる人材の育成を目指します。</p>

(2) 所属教員・研究内容一覧

- (注1) 本一覧は、令和2年(2020年)4月1日現在の本研究科の教員について記載したものです。
- (注2) 指導教員について、教員によっては学生の受入れができない場合がありますので、出願に際しては、事前に志望するコース教員又はコースの連絡先教員に必ず問い合わせてください。
- (注3) 担当教員の情報は、「<http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/mbrlist/index.html>」も参照してください。

○ 所属教員・研究内容一覧
 <数理物質科学専攻>

コ	ス	所属教員	職名	所属	研究内容
物理学		根本 祐一	准教授	自然科学系(理学部)	強相関電子系の低温物理
		大野 義章	教授	自然科学系(理学部)	強相関電子系の理論的研究
		浅賀 岳彦	教授	自然科学系(理学部)	素粒子統一模型と初期宇宙の物理現象
		宮田 等*	教授	自然科学系(理学部)	素粒子物理学の実験的研究
		中野 博章	准教授	自然科学系(理学部)	超対称性に基づく素粒子の統一模型
		小池 裕司	教授	自然科学系(理学部)	量子色力学を基礎にしたハドロン物理学
		松尾 正之	教授	自然科学系(理学部)	原子核構造の理論, 不安定核, 集団運動
		大坪 隆	准教授	自然科学系(理学部)	不安定核の核構造の実験的研究
		大原 謙一*	教授	自然科学系(理学部)	一般相対論的天体物理学, 重力波天文学
		西 亮一	准教授	自然科学系(理学部)	天体の構造, 形成および進化の研究
		奥西 巧一	准教授	自然科学系(理学部)	量子スピン系の理論
		摂待 力生	教授	自然科学系(理学部)	重い電子系の単結晶育成と極限下物性実験
		石川 文洋	准教授	自然科学系(理学部)	高圧下における超伝導と磁性の研究
		渡辺 一也	助教	自然科学系(理学部)	相対論, および相対論的宇宙論
		遊佐 洋右	助教	自然科学系(理学部)	加速器実験による素粒子物理学の研究
		赤津 光洋	助教	自然科学系(理学部)	強相関電子系の極限物性実験
		廣瀬 雄介	助教	自然科学系(理学部)	希土類化合物の単結晶育成と磁性と超伝導
		江尻 信司	准教授	自然科学系(理学部)	高温高密度での量子色力学の研究
		吉森 明	教授	自然科学系(理学部)	化学物理学の理論的研究
	化学		早坂 圭司	准教授	自然科学系(理学部)
		大村 彩子	准教授	自然科学系(理学部)	圧力誘起相転移の実験的研究
		伊藤 克美	教授	人文社会科学系(教育学部)	非摂動くりこみ群の研究
		土佐 幸子	教授	人文社会科学系(教育学部)	物理教育研究
		梅林 泰宏	教授	自然科学系(理学部)	環境適合性反応場の探索とナノ凝縮系科学の創生
		佐藤 敬一	准教授	自然科学系(理学部)	グリーン抽出分離系の開発, 両親媒性フタロシアニンの開発
		後藤 真一	准教授	自然科学系(理学部)	原子核分裂機構に関する研究, 超アクチノイド元素の化学的性質に関する研究
	田山 英治	准教授	自然科学系(理学部)	カルバニオン種の転位と脱離	
	長谷川 英悦	教授	自然科学系(理学部)	有機化合物の電子移動反応およびフリーラジカル反応	
	岩本 啓	准教授	自然科学系(理学部)	トポロジカル分子(カテナン, ロタキサン)の合成と機能化	

*: 2021年3月末退職予定者を示します。

<数理物質科学専攻>

コース	所属教員	職名	所属	研究内容
化学	古川 和広	教授	自然科学系(理学部)	生体高次機能制御における細胞核機能学
	丸山 健二	教授	自然科学系(理学部)	液体カルコゲン系の構造, カルコゲン化合物のマイクロクラスター
	大鳥 範和	教授	自然科学系(理学部)	液体およびガラスの構造と輸送係数
	生駒 忠昭	教授	自然科学系(理学部)	有機半導体における光伝導に対するスピン効果
	俣野 善博	教授	自然科学系(理学部)	典型元素を含む機能性有機分子に関する研究
	三浦 智明	助教	自然科学系(理学部)	複雑系における光誘起電子移動に関する実験的研究
	中馬 吉郎	准教授	自然科学系(理学部)	翻訳後修飾酵素によるタンパク質制御機構と疾患に関する研究
	古川 貢	准教授	研究推進機構 共用設備基盤センター	磁気共鳴法による機能性物質の新規機能性の探索とメカニズム解明研究
数理科学	渡邊 恵一	教授	自然科学系(理学部)	作用素がなす非可換空間の構造
	蛭川 潤一	准教授	自然科学系(理学部)	時系列解析の理論とその応用
	田中 環	教授	自然科学系(理学部)	ベクトル最適化, 集合最適化の解析的研究
	山田 修司	教授	自然科学系(理学部)	数理システムの大域的最適化
	鈴木 有祐	准教授	自然科学系(理学部)	閉曲面上に埋め込まれたグラフに関する研究
	應和 宏樹	准教授	自然科学系(理学部)	偏微分方程式の解の存在と一意性に関する研究
	三浦 毅	教授	自然科学系(理学部)	Banach環上の保存問題
	星 明考	准教授	自然科学系(理学部)	数論, 代数学
	小島 秀雄	教授	自然科学系(理学部)	開代数多様体に関する研究
	家富 洋	教授	自然科学系(理学部)	経済・社会現象の数理的研究
	劉 雪峰	准教授	自然科学系(理学部)	微分方程式の数値計算と誤差解析
	張間 忠人	教授	人文社会科学系 (教育学部)	多項式環の斉次イデアルに関する研究
	伏木 忠義	准教授	人文社会科学系 (教育学部)	多変量解析, 統計的予測
折田 龍馬	助教	自然科学系(理学部)	シンプレクティック多様体上のハミルトン力学系の研究	

<材料生産システム専攻>

コ	ー	ス	所 属 教 員	職 名	所 属	研 究 内 容
機能材料科学			坪 井 望	教 授	自然科学系(工学部)	※物 半導体光物性, 電子・電気材料工学
			佐々木 進	准教授	自然科学系(工学部)	※物 核スピントロニクスと量子物性
			武田 直也	教 授	自然科学系(工学部)	※物 磁性化合物, 超伝導体の物性及び開発
			中野 智仁	准教授	自然科学系(工学部)	※物 超伝導体, 磁性体の開発と極限環境下電子物性
			村上 貴洋	助 教	自然科学系(工学部)	※物 水素エネルギー関連材料
			八木 政行	教 授	自然科学系(工学部)	※開 無機ナノ材料, 光-化学エネルギー変換材料
			山 内 健	教 授	自然科学系(工学部)	※開 高分子複合材料, 生体模倣材料
			田中 孝明	教 授	自然科学系(工学部)	※開 生物材料工学, 生物化学工学
			大木 基史	准教授	自然科学系(工学部)	※開 機能性薄膜材料の開発および機械的特性評価
			由井 樹人	准教授	自然科学系(工学部)	※開 光化学, 光機能材料
			落合 秋人	准教授	自然科学系(工学部)	※開 生物機能工学, タンパク質工学
			三 俣 哲	准教授	自然科学系(工学部)	※開 刺激応答性ソフトマテリアルの合成と物性評価
			瀧本 哲也	教 授	自然科学系(工学部)	※物 強相関電子系の新奇物性の理論的解明及び提案
			齊藤 健二	准教授	自然科学系(工学部)	※開 光触媒, 多孔性無機結晶
素材生産科学			青木 俊樹	教 授	自然科学系(工学部)	※応 新規な機能性高分子の新規合成法
			金子 隆司	教 授	自然科学系(工学部)	※応 (主に電子)機能性高分子の設計と合成
			児玉 竜也	教 授	自然科学系(工学部)	※応 高温太陽熱の化学燃料転換に関する研究
			鈴木 敏夫	教 授	自然科学系(工学部)	※応 天然有機化合物の合成研究
			狩野 直樹	准教授	自然科学系(工学部)	※応 環境動態の解析・解明と影響評価
			戸田 健司	准教授	自然科学系(工学部)	※応 無機固体材料の設計と評価
			郷右近 展之	准教授	自然科学系(工学部)	※応 高温太陽熱の蓄熱・水素製造・CO2再燃料化に関する研究
			星 隆	准教授	自然科学系(工学部)	※応 遷移金属触媒を用いる有機合成反応の開発研究
			寺口 昌宏	助 教	自然科学系(工学部)	※応 機能性高分子の合成と分離機能の開発
			山際 和明	教 授	自然科学系(工学部)	※化 生物学的水環境保全技術の開発
			金 熙 濬	教 授	自然科学系(工学部)	※化 汚泥灰からリン回収と循環社会へ応用, 石炭の高品質化
			木村 勇雄	教 授	自然科学系(工学部)	※化 液相分散系, 無機質微粒子材料
			清水 忠明	教 授	自然科学系(工学部)	※化 資源エネルギー有効利用プロセスを設計する
			田口 佳成	准教授	自然科学系(工学部)	※化 ナノ・マイクロカプセル, 複合微粒子の調製
		多島 秀男	准教授	自然科学系(工学部)	※化 環境分離プロセスの設計と開発, 分離材料調製	

※物は物性系, ※開は開発系, ※応は応用化学系, ※化は化学工学系を示します。

<材料生産システム専攻>

コ	一	ス	所 属 教 員	職 名	所 属	研 究 内 容
素材生産科学			三上 貴司	准教授	自然科学系(工学部)	※化 希望品質の結晶粒子群を製造するための単位操作研究
			李 留 云	助 教	自然科学系(工学部)	※化 バイオマス・低品位石炭資源の効率的な利用方法の研究
			小松 博幸	助 教	自然科学系(工学部)	※化 ガス分離技術の開発および媒体の物性評価
			BELLAN Selvan	准教授	自然科学系(工学部)	※応・化 太陽熱利用のための潜熱・化学蓄熱システムに関する研究
機械科学			安 部 隆	教 授	自然科学系(工学部)	センサ・マイクロマシン, ナノテクノロジー
			牛田 晃臣	助 教	自然科学系(工学部)	流体工学, 環境負荷低減技術
			川崎 一正	准教授	自然科学系(工学部)	機械要素, 歯車工学
			坂本 秀一	准教授	自然科学系(工学部)	機械の騒音低減, 音響を利用した計測
			櫻井 篤	准教授	自然科学系(工学部)	熱工学, 光工学, 新エネルギー変換
			佐々木 朋裕	教 授	自然科学系(工学部)	金属工学, 材料加工
			鈴木 賢治	教 授	人文社会科学系(教育学部)	材料強度学, X線応力評価
			寒川 雅之	准教授	自然科学系(工学部)	マイクロ・ナノデバイス
			田邊 裕治*	教 授	自然科学系(工学部)	材料特性の同定, 衝撃破壊力学
			月山 陽介	准教授	自然科学系(工学部)	トライボロジー, 機械要素
			鳴海 敬倫*	教 授	自然科学系(工学部)	機能性流体, 複雑流体の流動
			新田 勇	教 授	自然科学系(工学部)	機械要素, トライボロジー
			平尾 篤利	准教授	人文社会科学系(教育学部)	生産工学, 加工学
			平元和彦	教 授	自然科学系(工学部)	機械力学と制御
			松原 幸治	教 授	自然科学系(工学部)	熱工学, 乱流伝熱
			山縣 貴幸	助 教	自然科学系(工学部)	可視化情報・計測とその応用
		横山 誠	准教授	自然科学系(工学部)	非線形システムの同定と制御	
社会システム工			野中 敏*	教 授	自然科学系(工学部)	地域産業振興, 中小企業
			尾田 雅文	教 授	地域創生推進機構(工学部)	医用システム, 生体医工学, 生体材料学
			増田 淳	教 授	自然科学系(工学部)	太陽光発電, 電子材料
			小浦方格	准教授	自然科学系(工学部)	産学連携, 地域産業, 中小企業, 機械設計
			長尾 雅信	准教授	人文社会科学系(工学部)	地域ブランディング, 関係性マーケティング, CSV
			東 瀬 朗	准教授	自然科学系(工学部)	システム工学, 安全工学, 経営戦略, デザイン工学
			若林 悦子	助 教	自然科学系(工学部)	社会システム工学・安全システム, 地域産業

*: 2021年3月末退職予定者を示します。

※物は物性系, ※開は開発系, ※応は応用科学系, ※化は化学工学系を示します。

<電気情報工学専攻>

コ	一	ス	所 属 教 員	職 名	所 属	研 究 内 容
情報工学			青戸 等人	教 授	自然科学系(工学部)	書き換えシステム, 定理自動証明, ソフトウェア基礎
			阿部 貴志	准教授	自然科学系(工学部)	バイオインフォマティクス
			飯田 佑輔	准教授	自然科学系(工学部)	アストロインフォマティクス, 画像工学, データ科学, 太陽地球系科学
			石井 望*	准教授	自然科学系(工学部)	生体電磁環境工学, アンテナ工学, 電磁波工学
			今村 孝*	准教授	自然科学系(工学部)	生体行動の計測・制御工学, 移動支援, 機構設計学
			大河 正志*	教 授	自然科学系(工学部)	センシングデバイス, 光エレクトロニクス
			管野 政明	准教授	自然科学系(工学部)	制御しやすいシステムの特徴づけ, 数値・数式ハイブリッド最適化手法
			酒匂 宏樹	准教授	自然科学系(工学部)	関数解析 距離空間の幾何学
			佐藤 亮一	教 授	人文社会科学系(教育学部)	電波伝搬解析手法の開発, 偏波レーダを用いた災害観測・自然植生観測に関する研究
			高橋 剛	准教授	自然科学系(工学部)	代数幾何学
			高橋 俊彦	准教授	自然科学系(工学部)	組合せアルゴリズム
			中野 敬介	教 授	自然科学系(工学部)	ネットワーク工学, 移動情報ネットワーク
			永幡 幸生	教 授	自然科学系(工学部)	確率論
			西森 健太郎	准教授	自然科学系(工学部)	MIMO技術を用いた屋内, スポット測位に関する研究
			萩原 威志	助 教	自然科学系(工学部)	属性文法応用システム, ウェブベースソフトウェア
			山崎 達也	教 授	自然科学系(工学部)	情報通信工学
			山田 寛喜	教 授	自然科学系(工学部)	無線信号処理, レーダ, 無線通信システム, アレーアンテナ
			山本 征法	准教授	自然科学系(工学部)	解析学, 非線形偏微分方程式
			余 俊	助 教	自然科学系(工学部)	進化計算, ソフトコンピューティング, 人工知能
電気電子工学			大平 泰生	准教授	自然科学系(工学部)	ナノフォトニクス, 量子エレクトロニクス
			小川 純	准教授	自然科学系(工学部)	応用超電導工学
			小椋 一夫	教 授	自然科学系(工学部)	プラズマ科学, ミリ波・テラヘルツ波, パルスパワー工学
			加藤 景三	教 授	自然科学系(工学部)	電気電子材料・デバイス, 有機エレクトロニクス
			金 ミンソク	准教授	自然科学系(工学部)	電波伝搬, 時空間信号処理, ソフトウェア無線
			熊野 英和	教 授	自然科学系(創生学部)	量子情報, 光・情報デバイス工学
			佐々木 重信	教 授	自然科学系(工学部)	スペクトル拡散通信, 無線通信システム
			清水 英彦	准教授	自然科学系(工学部)	薄膜構造制御
			城内 紗千子	准教授	自然科学系(工学部)	電気電子デバイス, 自己修復材料

** : 2021年4月異動予定者を示します。

<電気情報工学専攻>

コ	ー	ス	所 属 教 員	職 名	所 属	研 究 内 容
電気電子工学			新保 一成	教授	自然科学系(工学部)	電子・光デバイス, 電子機器
			菅原 晃	准教授	自然科学系(工学部)	高電圧大電流工学, 風力発電
			鈴木 孝昌	教授	自然科学系(工学部)	計測・制御, 光情報処理システム
			崔 森 悦	准教授	自然科学系(工学部)	光計測, 光センシング
			馬 場 暁	教授	自然科学系(工学部)	有機エレクトロニクス, バイオフォトニクス
			福 井 聡	教授	自然科学系(工学部)	超伝導応用機器, 先端超伝導材料
			村松 正吾	教授	自然科学系(工学部)	マルチレート信号処理, 画像処理
			山家 清之	准教授	自然科学系(工学部)	プラズマ理工学, プラズマ応用, プラズマプロセス
			LERTVACHIR APAIBOON * CHUTIPARN	助教	自然科学系(工学部)	有機エレクトロニクス, バイオフォトニクス
人間支援科学			飯島 淳彦	教授	自然科学系(工学部)	神経生理学, 生体医工学, 視覚認知
			岩城 護	准教授	自然科学系(工学部)	信号処理, 音声工学, 聴覚心理
			牛山 幸彦	教授	人文社会科学系 (工学部・教育学部)	スポーツバイオメカニクス, コーチング科学, スポーツ用具工学
			清水 研作	教授	人文社会科学系 (工学部・教育学部)	工学との融合が生み出す音のデザインと表現
			田中 幸治	教授	人文社会科学系 (工学部・教育学部)	ピアノ演奏, 演奏表現, ピアノ教育
			棚橋 重仁	助教	自然科学系(工学部)	視覚光学, 心理物理学, 多感覚統合
			中村 有花	助教	自然科学系(工学部)	科学物理, 生物物理, 液体の統計力学, 計算機シミュレーション
			橋本 学	准教授	人文社会科学系 (工学部・教育学部)	生活空間を彩る機能造形の設計, 工学技術を用いた芸術工学表現
			林 智彦	助教	自然科学系(工学部)	生物物理学, 計算生命科学, 溶液論, 形態計測学的アプローチ
			堀 潤一	教授	自然科学系(工学部)	生体医工学, 支援機器工学
			前田 義信	教授	自然科学系(工学部)	福祉生体分野のモデリングと構造分析
			三村 友子	准教授	人文社会科学系 (工学部・教育学部)	鋳金, 環境芸術, 立体造形
			三村 宣治 *	教授	自然科学系(工学部)	ロボティクス, 制御工学
			村山 敏夫	准教授	人文社会科学系 (工学部・教育学部)	健康工学, 健康生理学, 運動機能解析, 測定評価
		渡辺 哲也	教授	自然科学系(工学部)	福祉工学, ヒューマンインタフェース, 触覚情報処理	

*: 2021年3月末退職予定者を示します。

<生命・食料科学専攻>

コ	ー	ス	所 属 教 員	職 名	所 属	研 究 内 容
基礎生命科学			杉 本 健 吉	准 教 授	自然科学系(理学部)	造血制御機構の研究, 血管新生機構の研究, 変温動物の血液細胞に関する研究
			長 束 俊 治	教 授	自然科学系(理学部)	糖鎖情報解読のための生化学的研究
			前 野 貢	教 授	自然科学系(理学部)	胚軸形成, 胚血球分化の制御機構
			西 川 周 一	教 授	自然科学系(理学部)	小胞体機能による植物生活環の制御機構
			酒 井 達 也	教 授	自然科学系(理学部)	突然変異体を用いた植物の環境応答機構の研究
			岩 崎 俊 介	准 教 授	自然科学系(理学部)	タンパク質の核-細胞質間輸送による植物機能制御
			安 東 宏 徳	教 授	自然科学系(理学部)	海洋動物の環境適応の脳内機構
			加 藤 朗	准 教 授	自然科学系(理学部)	植物ペロオキソームの形成・分化機構
			井 筒 ゆ み	教 授	自然科学系(理学部)	発生生物学・免疫学, 脊椎動物の器官形成における幼生細胞のアポトーシスと免疫系の働き
			伊 東 孝 祐	准 教 授	自然科学系(理学部)	遺伝子発現に関与する生体分子の構造・機能解析
			藤 間 真 紀	助 教	自然科学系(理学部)	免疫応答の分子細胞学的研究
			池 内 桃 子	准 教 授	自然科学系(理学部)	植物の器官再生メカニズムの解明
			飯 田 碧	准 教 授	自然科学系(理学部)	通し回遊性魚類の生態, 水生生物の分散・滞留機構
			大 森 紹 仁	助 教	自然科学系(理学部)	棘皮動物の進化発生学, ウミシダの系統分類
応用生命・食品科学			末 吉 邦	教 授	自然科学系(農学部)	植物における窒素吸収・同化の制御機構
			三 ッ 井 敏 明	教 授	自然科学系(農学部)	高温登熟耐性イネの開発研究
			金 古 堅 太 郎	助 教	自然科学系(農学部)	プロテオミクス解析を用いたイネのストレス応答に関わる分子機構の解明
			伊 藤 紀 美 子	教 授	自然科学系(農学部)	イネ翻訳後修飾因子の研究と新奇物性を持つデンブンの開発
			大 竹 憲 邦	教 授	自然科学系(農学部)	ダイズ種子貯蔵タンパク質集積調節機構
			佐 藤 努	准 教 授	自然科学系(農学部)	微生物の生産する生理活性物質の探索・機能・生合成
			上 田 大 次 郎	助 教	自然科学系(農学部)	新規天然物探索とその生合成経路および生理活性に関する研究
			城 斗 志 夫	教 授	自然科学系(農学部)	食品のおいしさや機能性に関する研究
			鈴 木 一 史	教 授	自然科学系(農学部)	細菌の遺伝子発現制御機構
			中 井 博 之	准 教 授	自然科学系(農学部)	機能性糖質の生産開発
			北 岡 本 光	教 授	自然科学系(農学部)	糖質関連酵素の利用に関する研究
			西 海 理 之	教 授	自然科学系(農学部)	高圧食品科学に関する研究, 食肉の物性制御と結合組織の構造・機能に関する研究
			原 崇	准 教 授	自然科学系(農学部)	食品成分の免疫制御機能
			原 田 直 樹	教 授	自然科学系(農学部)	土壌微生物の機能解析と環境修復等への利用, 農地における放射性物質の挙動と作物吸収の抑制
			藤 村 忍	教 授	自然科学系(農学部)	筋肉タンパク質代謝及び食肉機能の調節
			三 亀 啓 吾	准 教 授	自然科学系(農学部)	植物成分からの機能性物質の創製
			杉 本 華 幸	准 教 授	自然科学系(農学部)	糖質加水分解酵素の構造と機能に関する研究
		中 野 優	教 授	自然科学系(農学部)	植物組織培養技術を用いた増殖・育種	
		元 永 佳 孝	准 教 授	自然科学系(農学部)	生物情報のセンシング技術とその利用	

<生命・食料科学専攻>

コ	一	ス	所 属 教 員	職 名	所 属	研 究 内 容
応用生命・ 食品科学			平 田 大	教 授	自然科学系(農学部)	酵母を用いた健康長寿・日本酒醸造に関する研究
			島 元 紗 希	助 教	自然科学系(農学部)	初期成長期の栄養ならびに体タンパク質の代謝調節機構に関する研究
			山 口 智 子	准教授	自然科学系(教育学部)	食品の栄養機能性と調理・加工に関する研究
生物資源科学			木 南 莉 莉	教 授	自然科学系(農学部)	経済発展と食料・農業・環境問題に関する研究
			平 泉 光 一	准教授	自然科学系(農学部)	農業技術構造と地域農業管理の研究
			伊 藤 亮 司	助 教	自然科学系(農学部)	食品産業の経済構造, 地場農産加工業の展開と原料農産物市場との関係に関する研究
			古 澤 慎 一	助 教	自然科学系(農学部)	農業資源管理とコミュニティビジネスに関する研究
			西 村 実 *	教 授	自然科学系(農学部)	環境ストレスに対する作物の反応様式の研究
			岡 崎 桂 一	教 授	自然科学系(農学部)	分子遺伝学的手法による植物育種
			児 島 清 秀	教 授	自然科学系(農学部)	果樹・蔬菜の発育の分子・生理機構
			高 橋 能 彦 *	教 授	自然科学系(農学部)	作物生産における肥培管理技術
			佐 野 義 孝	准教授	自然科学系(農学部)	植物ウイルスの疫学および分子生物学
			韓 東 生	准教授	自然科学系(農学部)	野菜生産技術および有機資材の利活用に関する研究
			深 井 英 吾	准教授	自然科学系(農学部)	植物の遺伝的多様性とその育種利用の研究
			大 谷 真 広	助 教	自然科学系(農学部)	バイオテクノロジーを利用した有用園芸植物の作出に関する基礎的・応用的研究
			岡 本 暁	助 教	自然科学系(農学部)	ダイズなど作物を用いた器官間の情報伝達に関する研究
			湊 菜 未	助 教	自然科学系(農学部)	植物-ウイルス-媒介昆虫の相互作用に関する研究
			山 田 宜 永	教 授	自然科学系(農学部)	実験動物・家畜における遺伝学的解析
			杉 山 稔 恵	教 授	自然科学系(農学部)	動物の骨とカルシウム代謝に関する研究
		板 野 志 郎	准教授	自然科学系(農学部)	草地における生態系機能と動物・植物間相互作用に関する研究	
		山 城 秀 昭	准教授	自然科学系(農学部)	生殖工学技術の改良・開発とその応用	
		吉 田 智 佳 子	助 教	自然科学系(農学部)	家畜における繁殖性向上に関する研究	

*: 2021年3月末退職予定教員を示します。

<環境科学専攻>

コ	一	ス	所 属 教 員	職 名	所 属	研 究 内 容
自然システム学			副島 浩一	教授	自然科学系(理学部)	多価イオンと物質の相互作用の解明
			本田 明治	教授	自然科学系(理学部)	気候変動に関わる大気大循環と異常気象
			浮田 甚郎	教授	自然科学系(理学部)	大気・海洋・雪氷結合系における素過程の解明
			松岡 史郎	教授	自然科学系(理学部)	高選択下で行う微量成分の高感度計測法
			湯川 靖彦*	教授	自然科学系(理学部)	異核多核錯体の合成と構造・性質に関する研究
			臼井 聡	准教授	自然科学系(理学部)	光および熱有機反応機構の理論的・実験的研究
			久保田 喜裕*	准教授	自然科学系(理学部)	資源・環境地質学
			林 八寿子	准教授	自然科学系(理学部)	植物細胞の環境適応機構とオルガネラの機能形態
			奈良間 千之	教授	自然科学系(理学部)	アジア山岳地域の氷河・氷河災害の現状解明
			則末 和宏	准教授	自然科学系(理学部)	海洋における微量元素と同位体の分布・循環に関する研究
			石崎 智美	助教	自然科学系(理学部)	野生植物における被食防衛機構の解明
			藤村 衡至	助教	自然科学系(理学部)	魚類の形態進化とゲノム進化に関する研究
			宮崎 勝己	教授	自然科学系(理学部)	海産のものを中心とした無脊椎動物の多様性に関する研究
			五十嵐 智志	准教授	人文社会科学系(教育学部)	ランタノイド錯体の合成とその構造・性質に関する研究
			工藤 起来	准教授	人文社会科学系(教育学部)	社会性昆虫における進化生態学研究
			志賀 隆	准教授	人文社会科学系(教育学部)	水生植物の系統分類および保全に関する研究
			半藤 逸樹	准教授	自然科学系(創生学部)	地球規模化学汚染のモデリングと「環境観」に関する機械学習およびビッグデータ解析
	流域環境学			永田 尚志	教授	佐渡自然共生科学センター
			岸本 圭子	准教授	佐渡自然共生科学センター	昆虫を中心とした無脊椎動物の群集生態学的研究
			粟生田 忠雄	助教	自然科学系(農学部)	土壌の物理化学性と作物生育の関係解明
			稲葉 一成	准教授	自然科学系(農学部)	地下水条件からみた地すべりの発生機構
			ウイタカ・アンドリュウ	准教授	自然科学系(農学部)	山地流域での出水流出過程の水文地形学的研究
			大橋 慎太郎	准教授	自然科学系(農学部)	農業生産における地域資源利用による地域活性化
			下保 敏和	准教授	人文社会科学系(教育学部)	農作業最適化のための情報収集と可視化技術の開発
			権田 豊	教授	自然科学系(農学部)	溪流における土砂移動現象の解明
			崎尾 均*	教授	佐渡自然共生科学センター	樹木の生活史と繁殖戦略
			鈴木 哲也	教授	自然科学系(農学部)	非破壊検査技術を用いた構造材料の損傷度評価法の開発研究
			関島 恒夫	教授	自然科学系(農学部)	野生動物の生態と保護・管理
			中田 誠	教授	自然科学系(農学部)	環境変動および環境汚染が生態系に及ぼす影響
			長谷川 英夫	准教授	自然科学系(農学部)	環境保全型農業を支援する農業機械の開発
			本間 航介	准教授	佐渡自然共生科学センター	森林群集の更新動態解析
			箕口 秀夫	教授	自然科学系(農学部)	森林における生物被害の防除と多様性の維持
		村上 拓彦	准教授	自然科学系(農学部)	森林リモートセンシング、地理空間情報を駆使した生態学的広域空間スケール研究	

*: 2021年3月末退職予定者を示します。

<環境科学専攻>

コ	一	ス	所 属 教 員	職 名	所 属	研 究 内 容
流域環境学			森 口 喜 成	准教授	自然科学系(農学部)	無花粉スギの分子育種に向けた研究
			吉 川 夏 樹	准教授	自然科学系(農学部)	農地の減災・防災機能および農地系における水循環
			坂 田 寧 代	准教授	自然科学系(農学部)	農村地域における土地利用の歴史の変遷および農地等の区画特性
			阿 部 晴 恵	准教授	佐 渡 自 然 共 生 科 学 セ ン タ ー	島嶼及び本州における生物進化や生物間相互作用系の研究, ツバキ属の進化に関する研究
			小 路 晋 作	准教授	自 然 科 学 系 (創 生 学 部)	農林地における人為的管理が昆虫群集に及ぼす影響
			柴 田 嶺	助 教	自然科学系(農学部)	森林の更新メカニズム解明と森林管理への応用, 生態系サービスの評価
			宮 津 進	助 教	自然科学系(農学部)	気候変動下における水循環・水資源量の将来予測と農業分野における持続可能な水利用手法の開発
			豊 田 光 世	准教授	佐 渡 自 然 共 生 科 学 セ ン タ ー	農村地域の内発的発展を促すプロセスデザインに関する研究
			満 尾 世 志 人	准教授	佐 渡 自 然 共 生 科 学 セ ン タ ー	淡水魚を対象とした群集生態学, 保全生物学
社会基盤・ 建築学			阿 部 和 久	教 授	自然科学系(工学部)	※社 応用力学・計算力学
			佐 伯 竜 彦	教 授	自然科学系(工学部)	※社 コンクリート構造物の維持管理方法
			紅 露 一 寛	教 授	自然科学系(工学部)	※社 応用力学, 計算力学, 鉄道工学, 環境シミュレーション
			斎 藤 豪	准教授	自然科学系(工学部)	※社 建設材料科学
			保 坂 吉 則	助 教	自然科学系(工学部)	※社 平野の地盤情報と地震防災
			中 村 亮 太	助 教	自然科学系(工学部)	※社 海岸工学・熱帯/温帯低気圧
			寺 尾 仁	准教授	人 文 社 会 科 学 系 (工 学 部)	※社・建 都市・地域政策
			加 藤 大 介	教 授	自然科学系(工学部)	※建 鉄筋コンクリート構造の耐震設計法
			土 井 希 祐 *	教 授	自然科学系(工学部)	※建 鋼コンクリート合成構造の設計方法
			赤 林 伸 一 *	教 授	自然科学系(工学部)	※建 建築・都市における環境設計
			岡 崎 篤 行	教 授	自然科学系(工学部)	※建 都市景観計画と市民参加
			黒 野 弘 靖	准教授	自然科学系(工学部)	※建 住居建築とその集合の計画理論
			中 村 孝 也	准教授	自然科学系(工学部)	※建 コンクリート構造物の耐震性評価
			大 嶋 拓 也	准教授	自然科学系(工学部)	※建 建築・都市における音環境予測
			松 井 大 輔	准教授	自然科学系(工学部)	※建 都市計画・都市デザイン
			棒 田 恵	助 教	自然科学系(工学部)	※建 建築計画・デザイン
		有 波 裕 貴	助 教	自然科学系(工学部)	※建 建築における温熱空気環境と省エネルギー	
		寺 西 正 輝	助 教	研究推進機構(工学部)	※建 数理塑性モデルの研究	
地球科学			高 澤 栄 一	教 授	自然科学系(理学部)	上部マントルダイナミクスの岩石学的・地球化学的研究
			豊 島 剛 志	教 授	自然科学系(理学部)	マイロナイト・変形集中・シュードタキライト・地震・地殻のレオロジー
			小 林 健 太	講 師	自然科学系(理学部)	脆性断層・活断層・地震断層に関する構造地質学
			松 岡 篤	教 授	自然科学系(理学部)	浮遊性原生生物の進化と海洋環境変遷史の研究
			栗 原 敏 之	准教授	自然科学系(理学部)	微古生物学による顕生代地史の研究
			栗 田 裕 司	准教授	自然科学系(理学部)	地層記録の解読による堆積盆地発達史の解明

*:2021年3月末退職予定者を示します。
 ※社は社会基盤系, ※建は建築系を示します。

<環境科学専攻>

コ ー ス	所 属 教 員	職 名	所 属	研 究 内 容
地球科学	SATISH KUMAR, MADHUSOODHAN	教 授	自然科学系(理学部)	先カンブリア地質学
	小 西 博 巳	教 授	自然科学系(理学部)	電子顕微鏡鉱物学
	高 橋 俊 郎	准教授	自然科学系(理学部)	島弧火山岩の岩石学的・地球化学的研究
	植 田 勇 人	准教授	自然科学系(理学部)	付加体と高圧変成岩のテクトニクス
	椎 野 勇 太	准教授	自然科学系(理学部)	古生物の機能形態進化
	藤 林 紀 枝	教 授	人文社会科学系 (教育学部)	古海底火山の地質学的研究と背弧マグマティズム
	高 清 水 康 博	准教授	人文社会科学系 (教育学部)	堆積学, 堆積地質学, および古津波科学等の研究
災害環境科学	河 島 克 久	教 授	災害・復興科学研究所	温暖多雪地域の気象・雪氷災害のメカニズム解明と対策技術
	ト 部 厚 志	教 授	災害・復興科学研究所	平野地盤災害の特徴と防災
	片 岡 香 子	准教授	災害・復興科学研究所	火山噴火時, 噴火後の諸現象と火山災害・火山土砂災害
	安 田 浩 保	准教授	災害・復興科学研究所	治水と環境の両者に配慮した数理的な河川工学の確立への挑戦
	渡 部 直 喜	准教授	災害・復興科学研究所	斜面災害における水文地球化学的アプローチ
東アジア 大気環境学 (連携講座)	佐 瀬 裕 之	客 員 教 授	アジア大気汚染 研 究 セ ン タ ー	森林集水域における物質の大気からの流入, 生態系内での動態, 河川からの流出等のプロセス解明
	大 泉 毅	客 員 教 授	アジア大気汚染 研 究 セ ン タ ー	越境大気汚染物質の我が国への輸送と沈着に関する研究
	箕 浦 宏 明	客 員 教 授	アジア大気汚染 研 究 セ ン タ ー	さまざまな汚染物質の排出と大気中の動的挙動に関する研究
	山 下 研	客 員 教 授	アジア大気汚染 研 究 セ ン タ ー	東アジアの大気汚染の健康等影響評価及びその対策にかかる社会・経済分析
	佐 藤 啓 市	客 員 准教授	アジア大気汚染 研 究 セ ン タ ー	東アジアにおける汚染物質の大気動態解析
	黒 川 純 一	客 員 准教授	アジア大気汚染 研 究 セ ン タ ー	アジアにおける大気汚染物質の排出実態と経年変化に関する研究
	霍 銘 群	客 員 准教授	アジア大気汚染 研 究 セ ン タ ー	東アジアにおける降水成分及び粒子状物質の組成特性評価

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。